

住民向けアンケート調査報告書

I. 調査の概要

調査対象…世羅町在住の19歳以上の住民6,761名（有権者の約半数）

調査時期…令和元年（2019年）11月～12月

調査方法…無記名アンケート方式

集計対象者数…2,277名/回収率33.7%（前回調査3,488名/回収率47.1%）

※前回調査 平成26年（2014年）12月～平成27年（2015年）1月

集計対象者の属性…下図のとおり

（人、%）

性別	男性	女性
今回調査	1,065(47.2)	1,193(52.8)
前回調査	1,561(45.3)	1,882(54.7)

年齢別	19～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
今回調査	81(3.6)	141(6.2)	236(10.4)	261(11.5)	496(21.9)	579(25.6)	468(20.7)
前回調査	※135(3.9)	255(7.4)	286(8.3)	474(13.7)	810(23.5)	766(22.2)	723(21.0)

（注）前回調査の対象年齢は20～29歳

居住地区別	甲山	中央	伊尾小谷	東	宇津戸	大田	西大田
今回調査	310(13.8)	126(5.6)	113(5.0)	123(5.5)	144(6.4)	454(20.2)	281(12.5)
前回調査	434(12.6)	180(5.2)	180(5.2)	213(6.2)	169(4.9)	704(20.5)	414(12.1)

居住地区別	津久志	大見	山福田	小国	黒川	津名
今回調査	86(3.8)	126(5.6)	51(2.3)	150(6.7)	118(5.3)	165(7.3)
前回調査	174(5.1)	209(6.1)	96(2.8)	245(7.1)	179(5.2)	234(6.8)

仕事別	無職	農林水産業	家事専業	その他サービス業	製造業	医療・福祉業	公務員
今回調査	602(27.4)	410(18.7)	249(11.3)	237(10.8)	160(7.3)	148(6.7)	107(4.9)
前回調査	896(26.4)	677(19.9)	433(12.7)	328(9.6)	239(7.0)	203(6.0)	167(4.9)

仕事別	建設業	商業	学生	その他
今回調査	86(3.9)	56(2.6)	10(0.5)	129(5.9)
前回調査	107(3.1)	107(3.1)	18(0.5)	225(6.6)

（注）四捨五入の関係で構成比の合計が100.0%にならない場合がある。以下同様。

Ⅱ. 調査結果

1. あなたご自身について

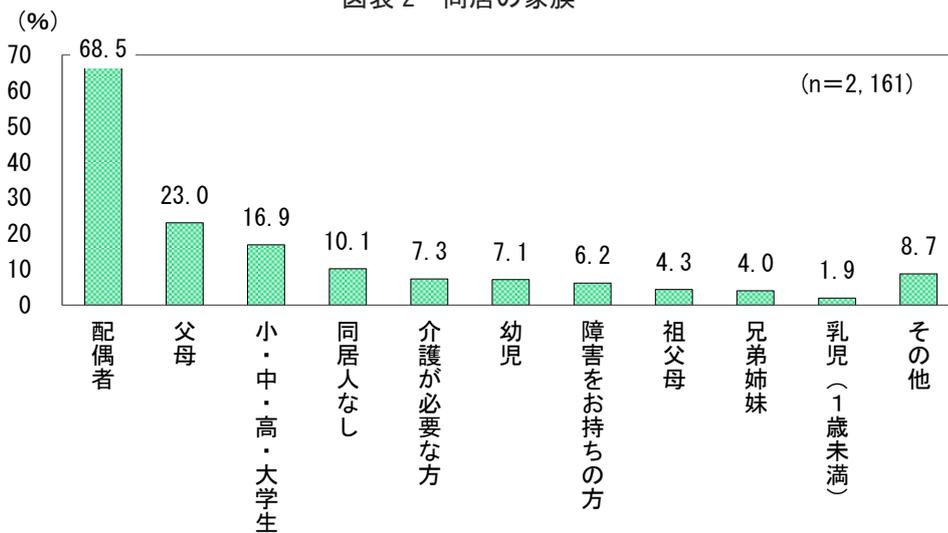
世羅町での「居住歴」について尋ねたところ、「世羅町生まれで、ずっと世羅町に住んでいる」が 27.5%と最も多く、次いで「県内の他の市町の生まれで、現在世羅町に住んでいる」(27.4%)、「世羅町生まれで、県内の他の市町に住んだあと、世羅町に住んでいる」(27.4%)、「世羅町生まれで、県内の他の市町に住んだあと、世羅町に帰ってきた(進学を含む)」(20.9%)などの順となっている(図表1)。

図表1 居住歴

居住歴	(人、%)	
	人数	構成比
世羅町生まれで、ずっと世羅町に住んでいる	620	27.5
県内の他の市町の生まれで、 現在世羅町に住んでいる	618	27.4
世羅町生まれで、県内の他の市町に住んだあと、 世羅町に帰ってきた(進学を含む)	471	20.9
世羅町生まれで、県外に住んだあと、 世羅町に帰ってきた(進学を含む)	341	15.1
県外の生まれで、現在世羅町に住んでいる	193	8.6
その他	11	0.5
合計	2,254	100.0

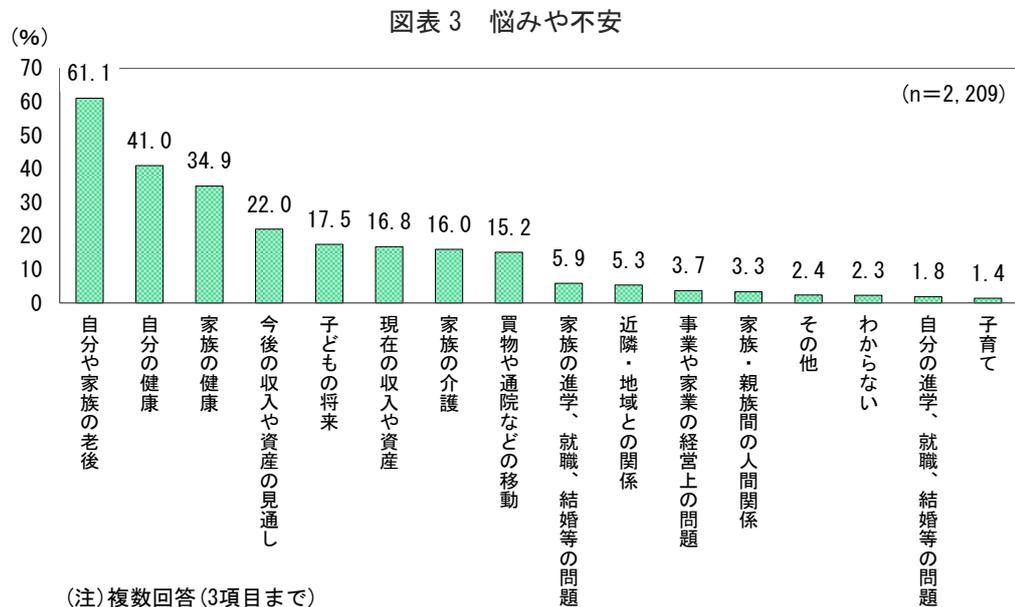
「同居の家族」について尋ねたところ、「配偶者」が 68.5%と最も多く、次いで「父母」(23.0%)、「小・中・高・大学生」(16.9%)などの順となっている(図表2)。

図表2 同居の家族



(注)複数回答

「悩みや不安」について尋ねたところ、「自分や家族の老後」が61.1%と最も多く、次いで「自分の健康」(41.0%)、「家族の健康」(34.9%)、「今後の収入や資産の見通し」(22.0%)などの順となっている(図表3)。

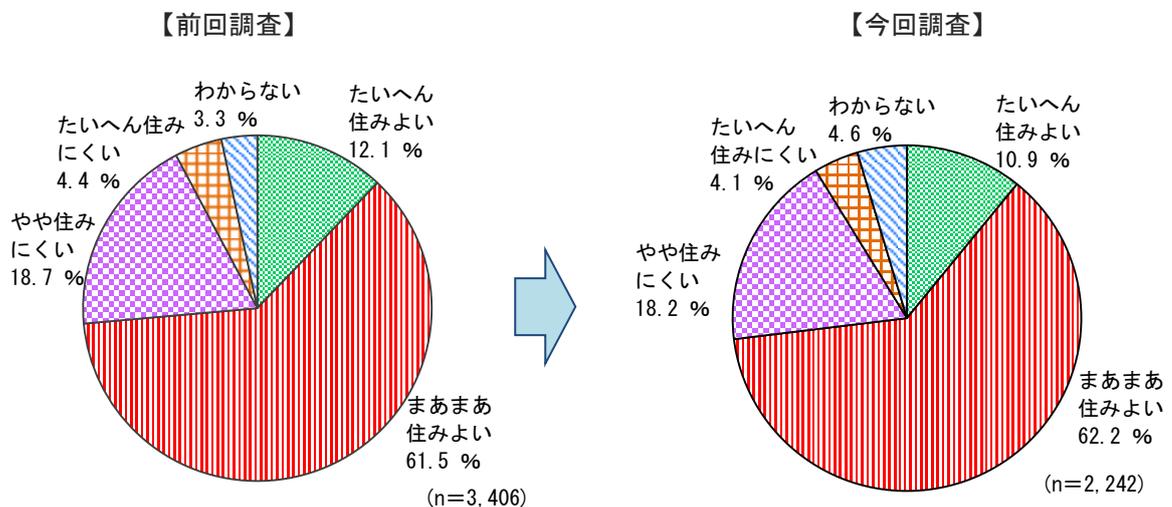


2. 世羅町の住み心地について

「世羅町の住み心地」について尋ねたところ、「たいへん住みよい」が10.9%(前回調査比▲1.2%ポイント)、「まあまあ住みよい」が62.2%(同+0.7%ポイント)となっており、これらを合計すると“住みやすい”との回答が73.1%(同▲0.5%ポイント)を占めている(図表4)。

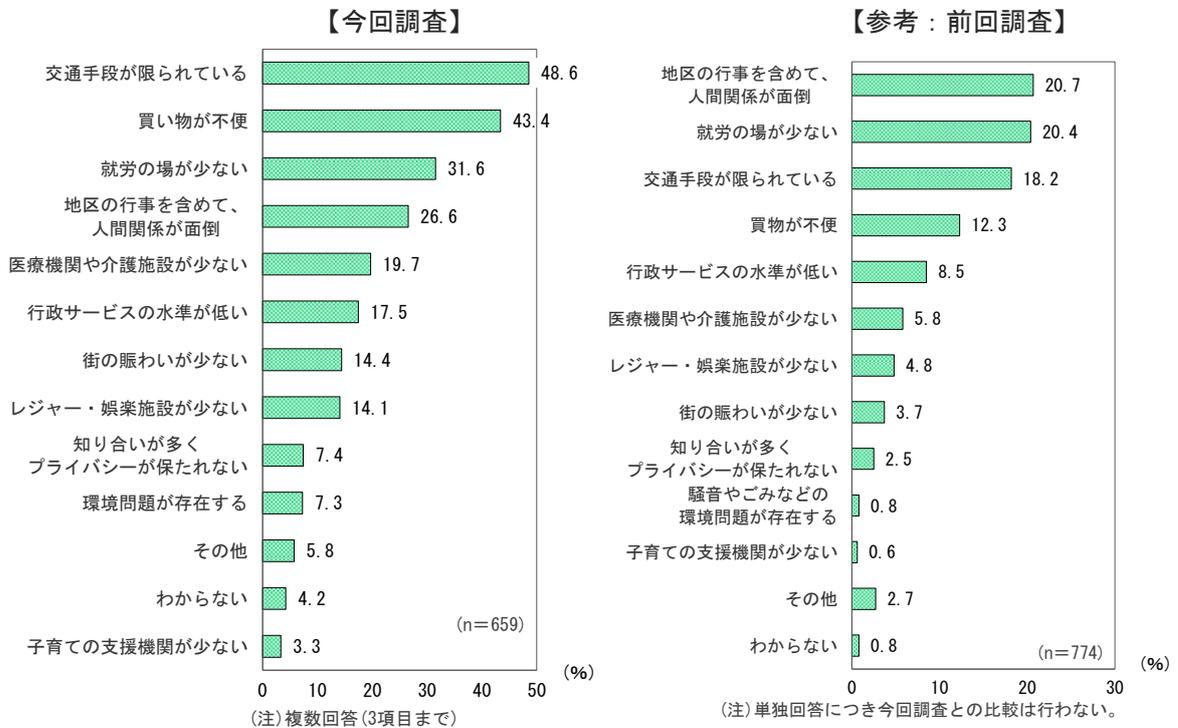
一方、「やや住みにくい」が18.2%(同▲0.5%ポイント)、「たいへん住みにくい」が4.1%(同▲0.3%ポイント)となっており、これらを合計すると“住みにくい”との回答は22.3%(同▲0.8%ポイント)を占めている。

図表4 世羅町の住み心地



「世羅町の住み心地」について、「やや住みにくい」または「たいへん住みにくい」と回答した人に、その理由について尋ねたところ、「交通手段が限られている」が48.6%で最も多く、次いで「買い物が不便」(43.4%)、「就労の場が少ない」(31.6%)などの順となっている(図表5)。

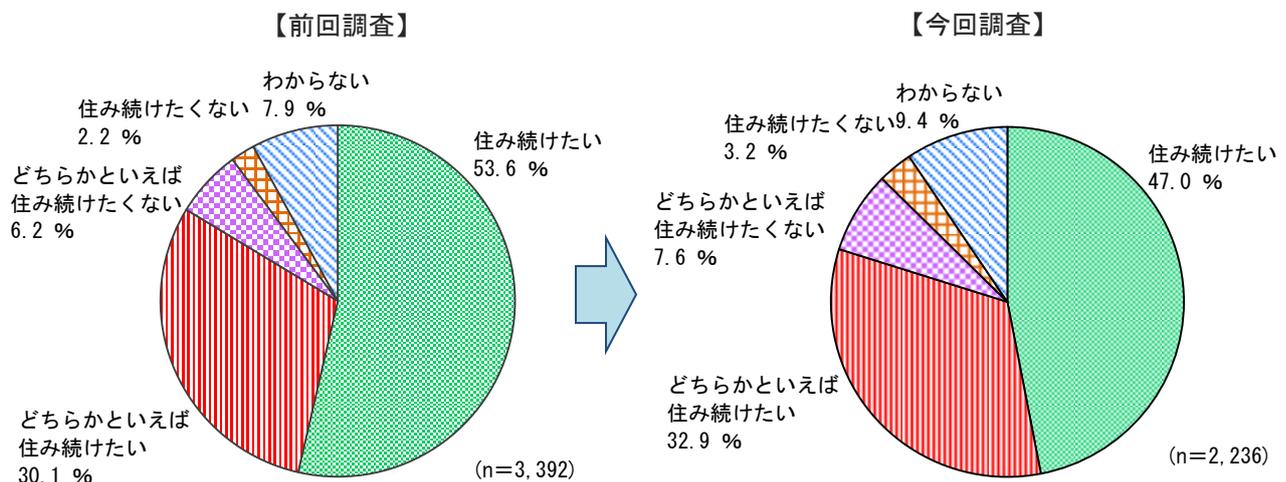
図表5 世羅町が住みにくいと感じる理由



「今後の世羅町での居住意向」について尋ねたところ、「住み続けたい」が47.0% (前回調査比▲6.6%ポイント)、「どちらかといえば住み続けたい」が32.9% (同+2.8%ポイント)となっており、これらを合計すると“住み続けたい”との回答が79.9% (同▲3.8%ポイント)を占めている(図表6)。

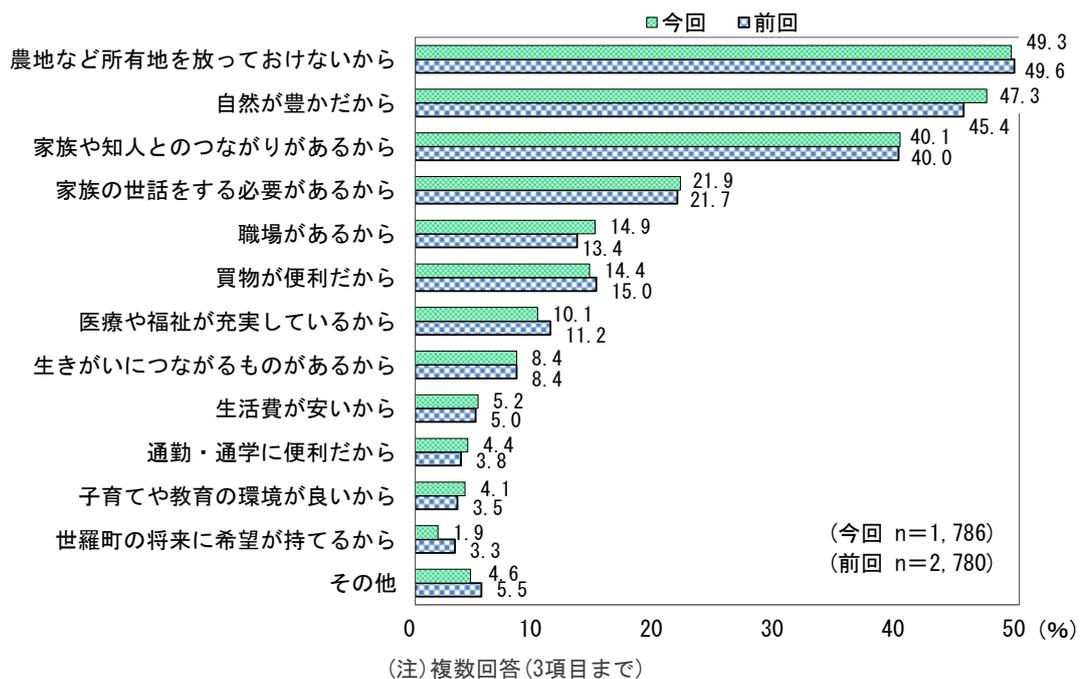
一方、「どちらかといえば住み続けたくない」が7.6% (同+1.4%ポイント)、「住み続けたくない」が3.2% (同+1.0%ポイント)となっており、これらを合計すると“住み続けたくない”との回答は10.8% (同+2.4%ポイント)を占めている。

図表6 今後の世羅町での居住意向



世羅町に「住み続けたい」または「どちらかといえば住み続けたい」と回答した人に、その理由について尋ねたところ、「農地など所有地を放っておけないから」が49.3%（前回調査比▲0.3%ポイント）と最も多く、次いで「自然が豊かだから」（47.3%、同+1.9%ポイント）、「家族や知人のつながりがあるから」（40.1%、同+0.1%ポイント）、「家族の世話をする必要があるから」（21.9%、同+0.2%ポイント）などの順となっている（図表7）。

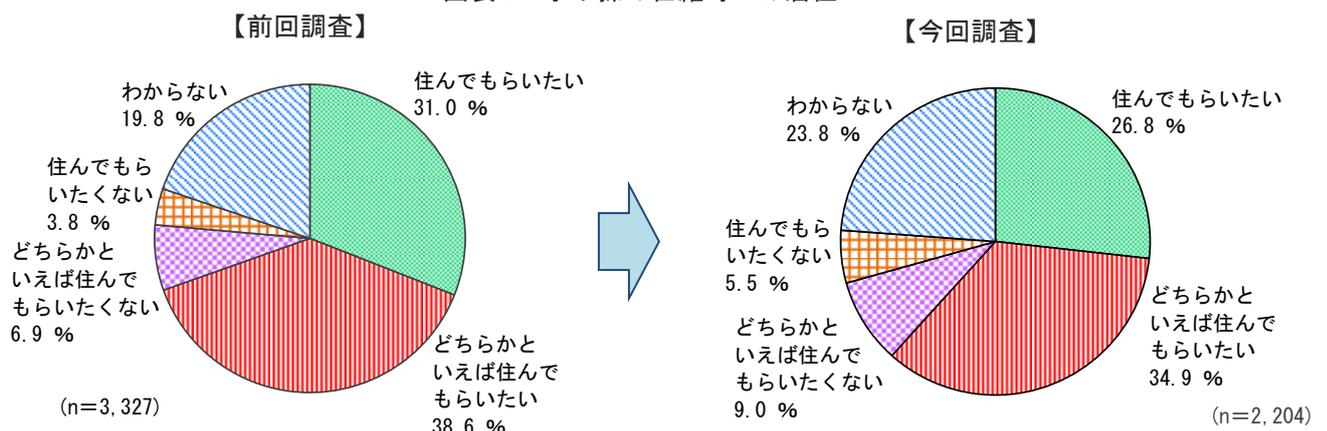
図表7 世羅町に住み続けたい理由



「子や孫の世羅町への居住」について尋ねたところ、「住んでもらいたい」が26.8%（前回調査比▲4.2%ポイント）、「どちらかといえば住んでもらいたい」が34.9%（同▲3.7%ポイント）となっており、これらを合計すると“住んでもらいたい”が61.7%（同▲7.9%ポイント）を占めている（図表8）。

一方、「どちらかといえば住んでもらいたくない」が9.0%（同+2.1%ポイント）、「住んでもらいたくない」が5.5%（同+1.7%ポイント）となっており、これらを合計すると“住んでもらいたくない”との回答は14.5%（同+3.8%ポイント）を占めている。

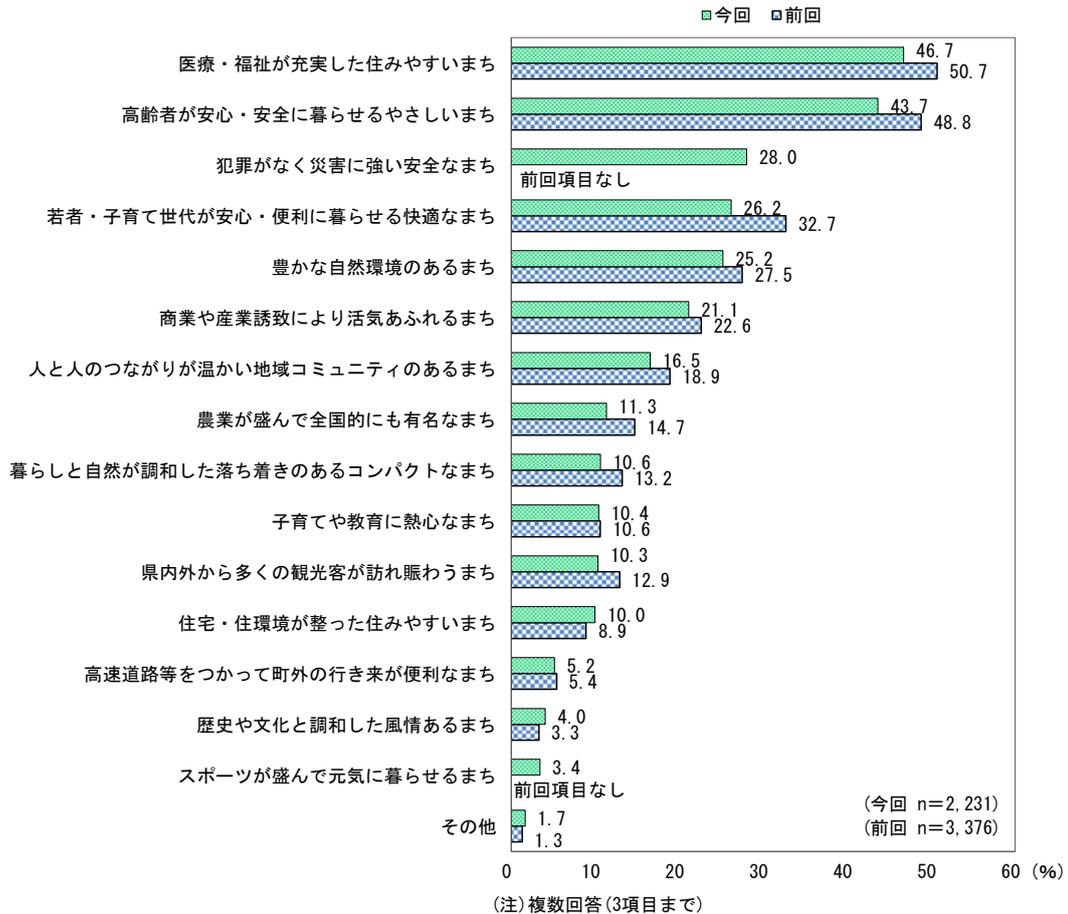
図表8 子や孫の世羅町への居住



3. 世羅町の方向性

「将来の世羅町の方向性」について尋ねたところ、「医療・福祉が充実した住みやすいまち」が46.7%（前回調査比▲4.0%ポイント）と最も多く、次いで「高齢者が安心・安全に暮らせるやさしいまち」（43.7%、同▲5.1%ポイント）、「犯罪がなく災害に強い安全なまち」（28.0%、前回項目なし）などの順となっている（図表9）。

図表9 将来の世羅町の方向性

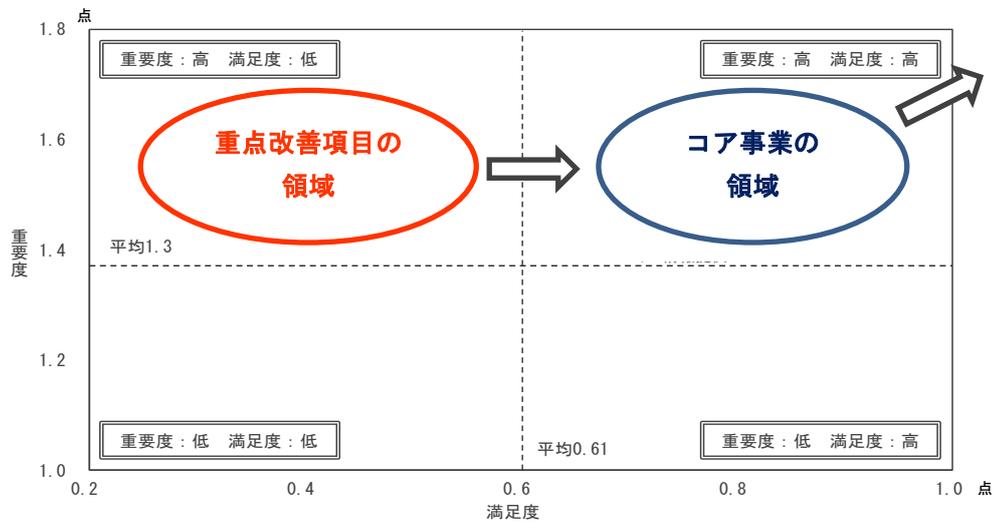


4. 世羅町の施策に関する満足度と重要度

以下では、世羅町の施策について、健康増進、農業振興、観光振興、社会教育、協働のまちづくりなど計18分野に分類したうえで、それぞれの分野に属する個別の項目に関する満足度と重要度を尋ねた。

次に、下図のように満足度と重要度を点数化した散布図を作成し、「重要度：高 満足度：高」（重要度・満足度とも平均以上）の領域を自治体にとっての「コア事業」の領域とし、「重要度：高 満足度：低」（重要度は平均以上、満足度は平均以下）の領域を、「重点改善項目」の領域とした。

<満足度と重要度の散布図>



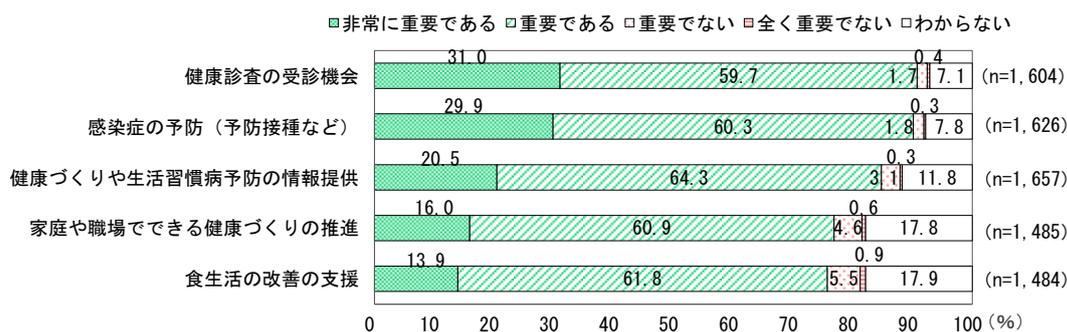
(注) 各回答のうち「非常に満足」を+3点、「満足」を+1点、「不満」を▲1点、「非常に不満」を▲3点、「非常に重要」を+3点、「重要」を+1点、「重要でない」を▲1点、「全く重要でない」を▲3点と点数化し、集計したものを各標本数で除して集計。

(1) 健康増進

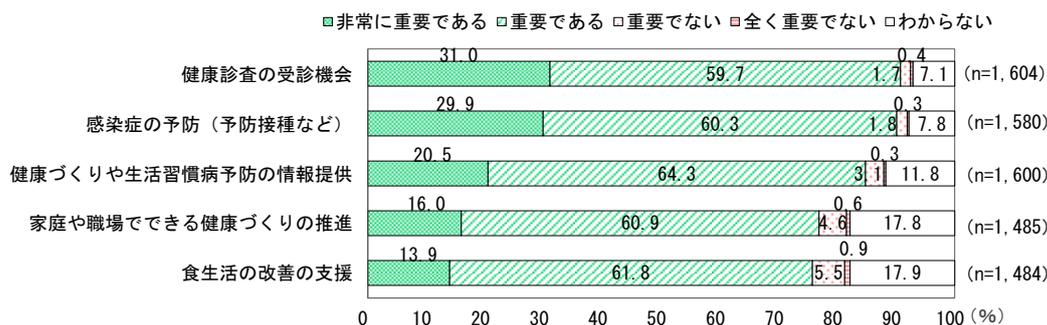
健康増進に関しては、満足度が高い順に「健康診査の受診機会」、「感染症の予防（予防接種など）」、「健康づくりや生活習慣病予防の情報提供」など（図表 10）、重要度では満足度と同様、「健康診査の受診機会」、「感染症の予防（予防接種など）」、「健康づくりや生活習慣病予防の情報提供」などの順となっている（図表 11）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は「健康診査の受診機会」と「感染症の予防（予防接種など）」となっている。なお、「重点改善項目」の領域に該当する項目は無い（図表 12）。

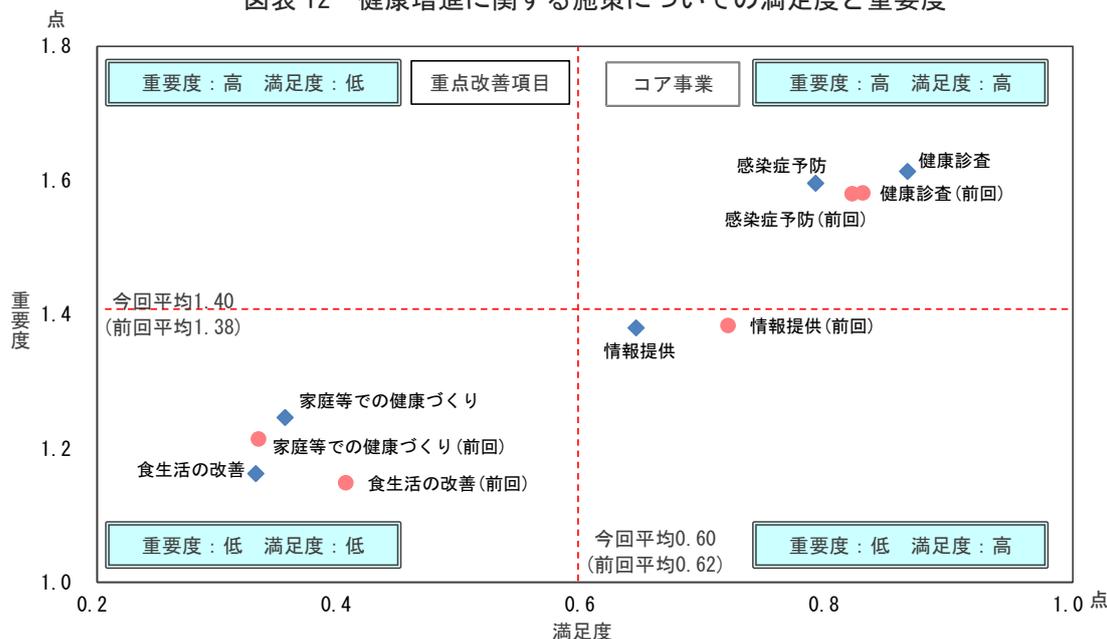
図表 10 健康増進に関する施策についての満足度



図表 11 健康増進に関する施策についての重要度



図表 12 健康増進に関する施策についての満足度と重要度



(注 1) 図表 10 及び図表 11 の項目名が長いため、図表 12 では一部を省略。以下同様。

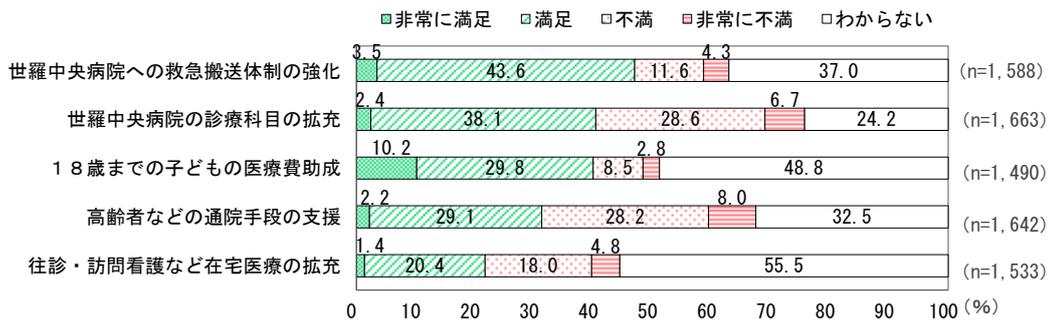
(注 2) 点線は今回調査の平均値。以下同様。

(2) 医療

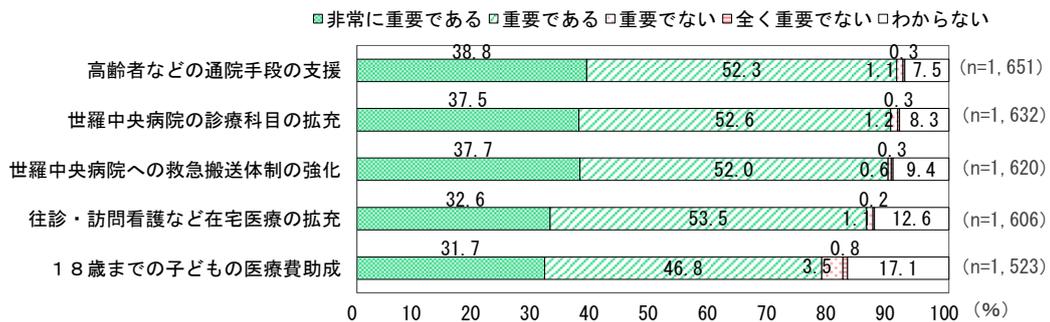
医療に関しては、満足度が高い順に「世羅中央病院への救急搬送体制の強化」、「世羅中央病院の診療科目の拡充」、「18歳までの子どもの医療費助成」など（図表13）、重要度が高い順では「高齢者などの通院手段の支援」、「世羅中央病院の診療科目の拡充」、「世羅中央病院への救急搬送体制の強化」などとなっている（図表14）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は「世羅中央病院への救急搬送体制の強化」、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「高齢者などの通院手段の支援」、「世羅中央病院の診療科目の拡充」となっている（図表15）。

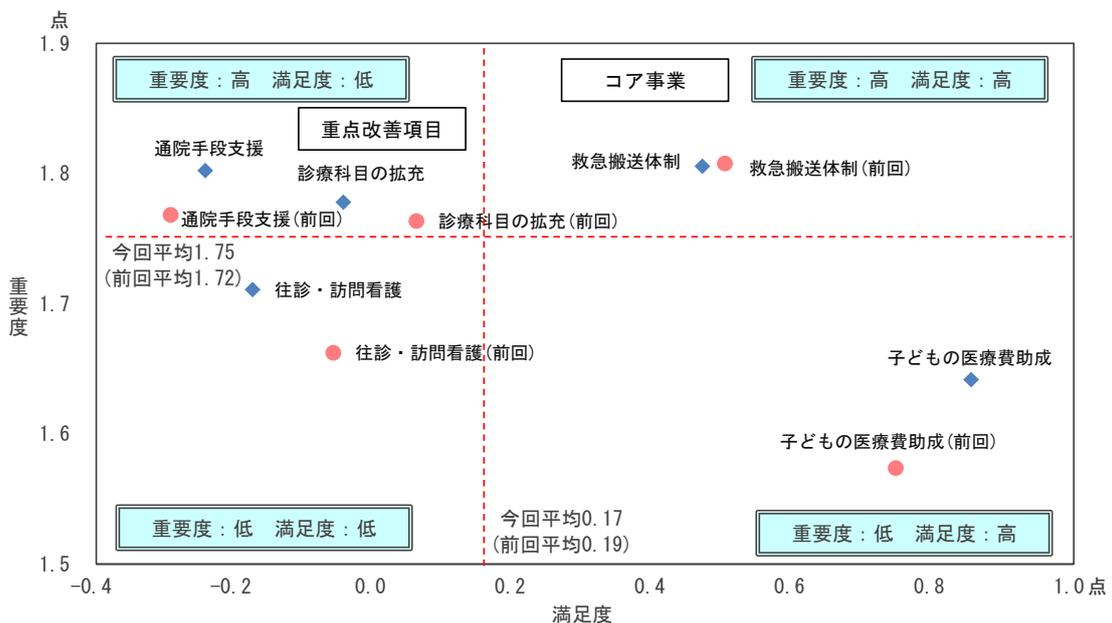
図表13 医療に関する施策についての満足度



図表14 医療に関する施策についての重要度



図表15 医療に関する施策についての満足度と重要度

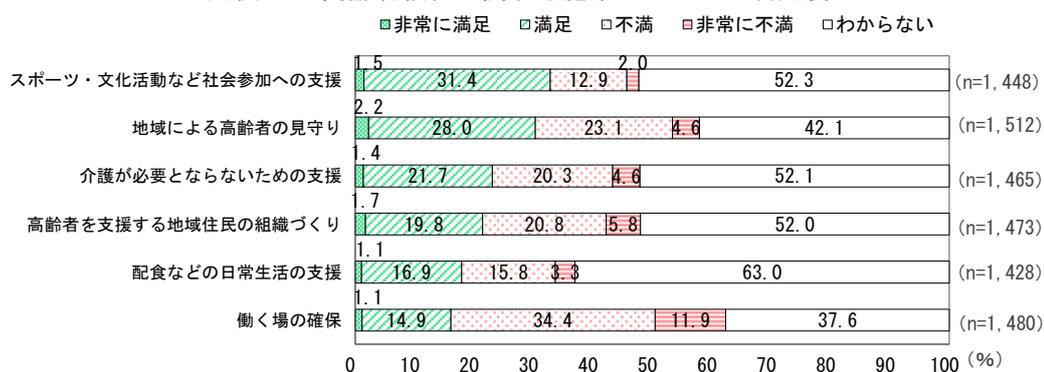


(3) 高齢者福祉

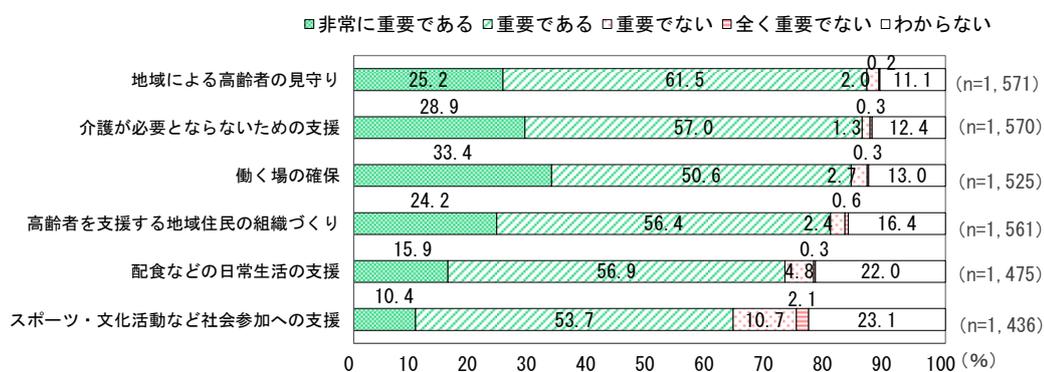
高齢者福祉に関しては、満足度が高い順に「スポーツ・文化活動など社会参加への支援」、「地域による高齢者の見守り」など（図表 16）、重要度が高い順では、「地域による高齢者の見守り」、「介護が必要とならないための支援」などとなっている（図表 17）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は「地域による高齢者の見守り」、「介護が必要とならないための支援」、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「働く場の確保」、「高齢者を支援する地域住民の組織づくり」となっている（図表 18）。

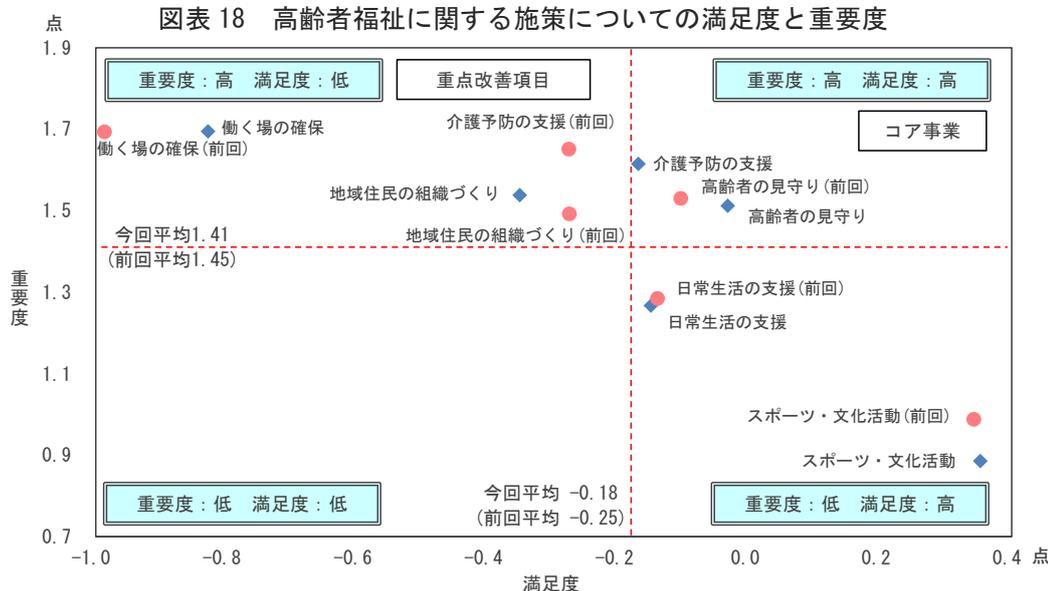
図表 16 高齢者福祉に関する施策についての満足度



図表 17 高齢者福祉に関する施策についての重要度



図表 18 高齢者福祉に関する施策についての満足度と重要度

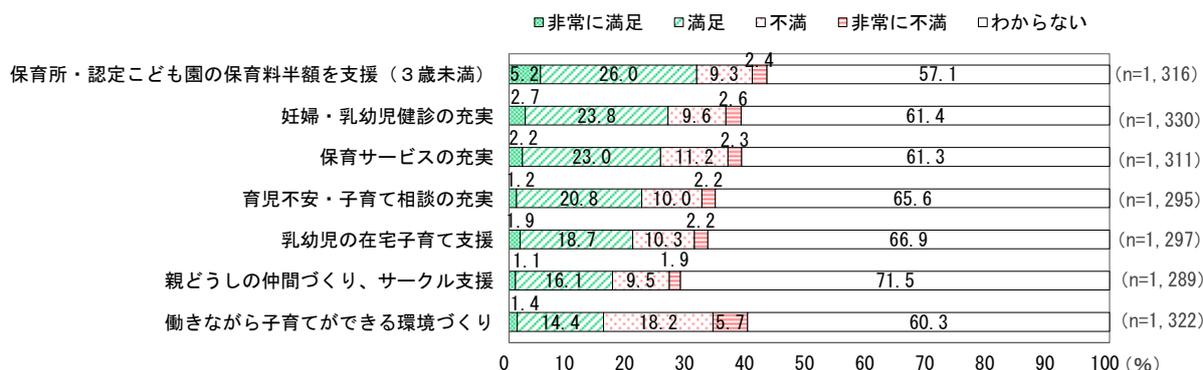


(4) 子育て支援

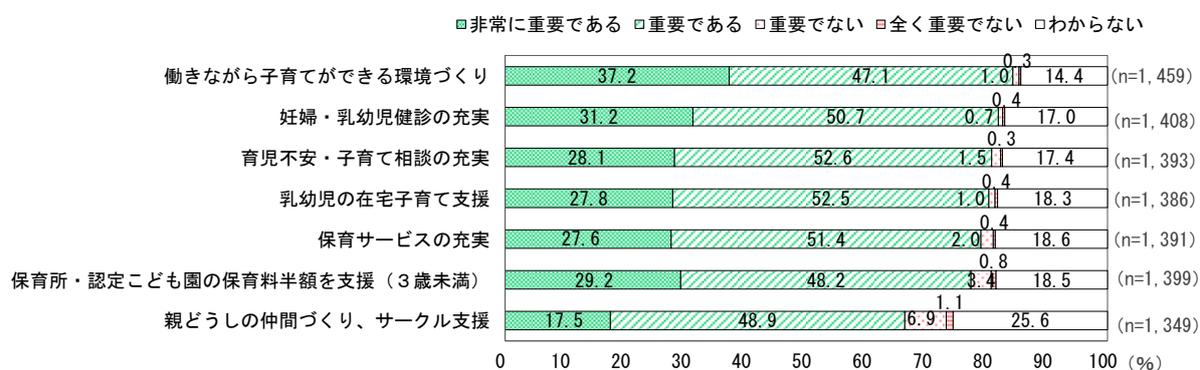
子育て支援に関しては、満足度が高い順に「保育所・認定こども園の保育料半額を支援（3歳未満）」、「妊婦・乳幼児健診の充実」など（図表 19）、重要度が高い順では「働きながら子育てができる環境づくり」、「妊婦・乳幼児健診の充実」などとなっている（図表 20）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は「妊婦・乳幼児健診の充実」、「育児不安・子育て相談の充実」、「乳幼児の在宅子育て支援」、「保育サービスの充実」、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「働きながら子育てができる環境づくり」となっている（図表 21）。

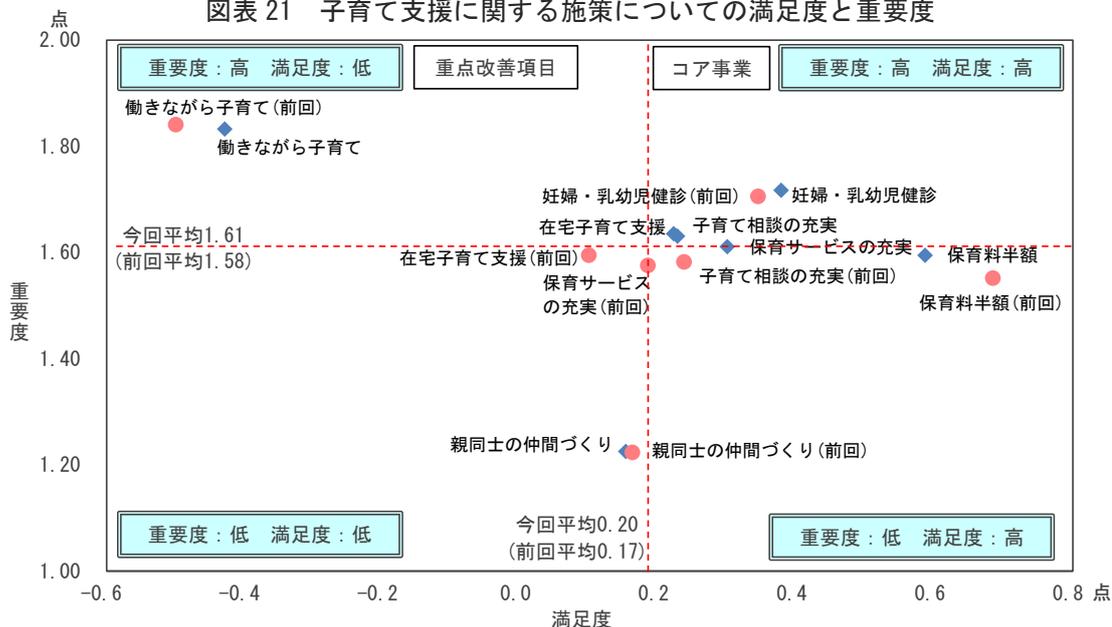
図表 19 子育て支援に関する施策についての満足度



図表 20 子育て支援に関する施策についての重要度



図表 21 子育て支援に関する施策についての満足度と重要度

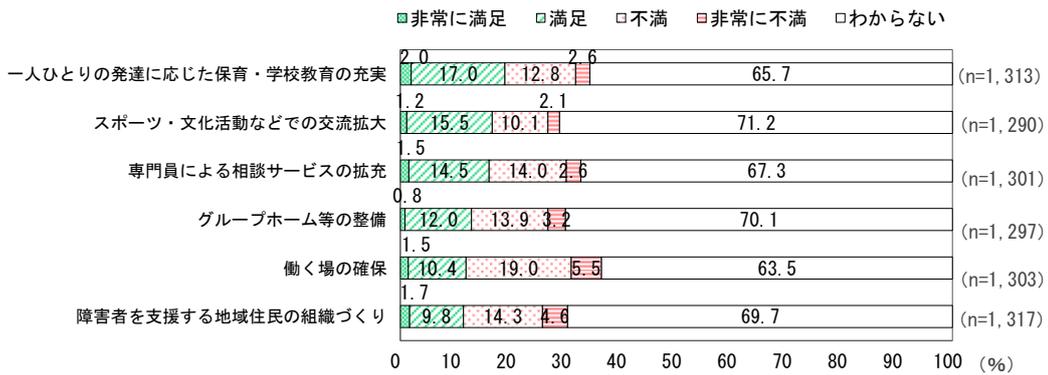


(5) 障害者福祉

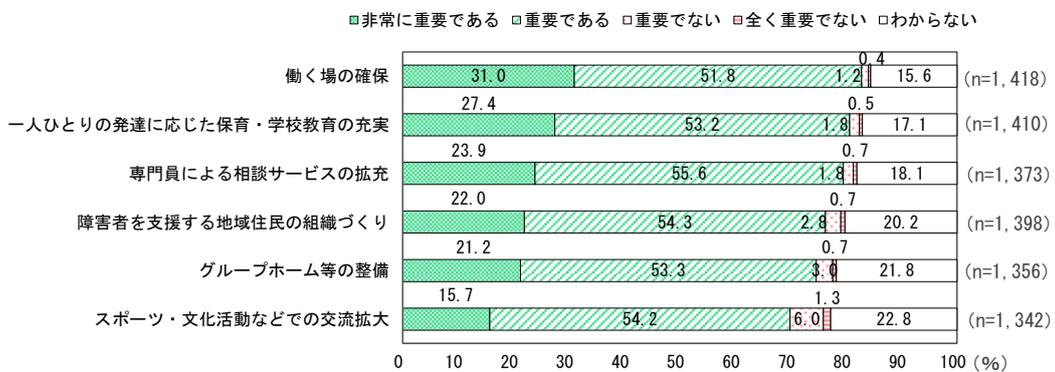
障害者福祉に関しては、満足度が高い順に「一人ひとりの発達に応じた保育・学校教育の充実」、「スポーツ・文化活動などでの交流拡大」など（図表 22）、重要度が高い順では「働く場の確保」、「一人ひとりの発達に応じた保育・学校教育の充実」などとなっている（図表 23）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は「一人ひとりの発達に応じた保育・学校教育の充実」、「専門員による相談サービスの拡充」、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「働く場の確保」となっている（図表 24）。

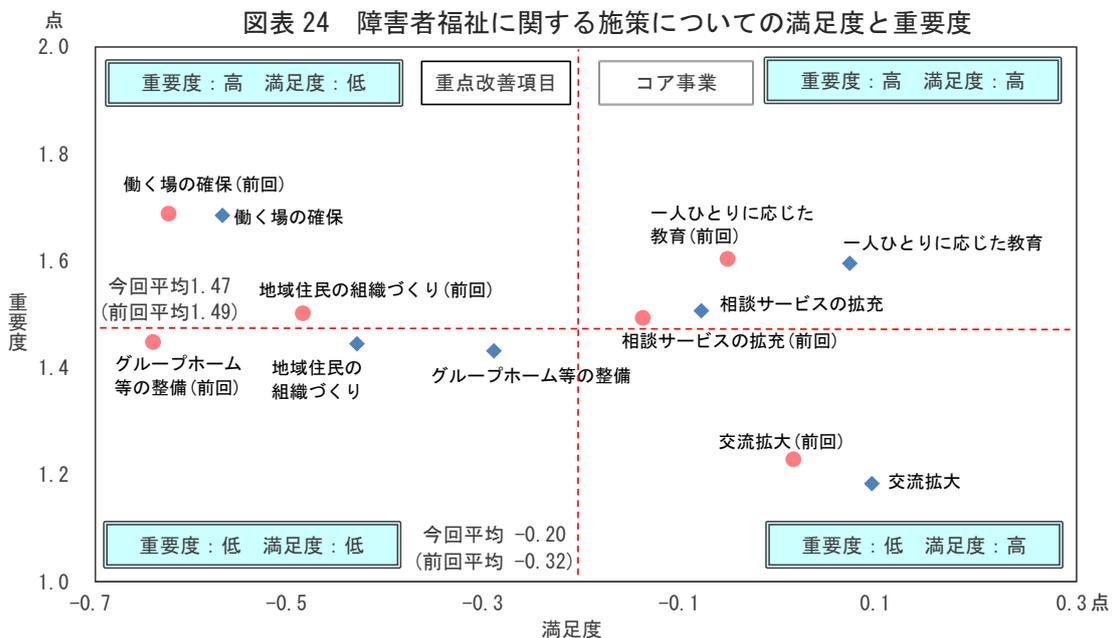
図表 22 障害者福祉に関する施策についての満足度



図表 23 障害者福祉に関する施策についての重要度



図表 24 障害者福祉に関する施策についての満足度と重要度

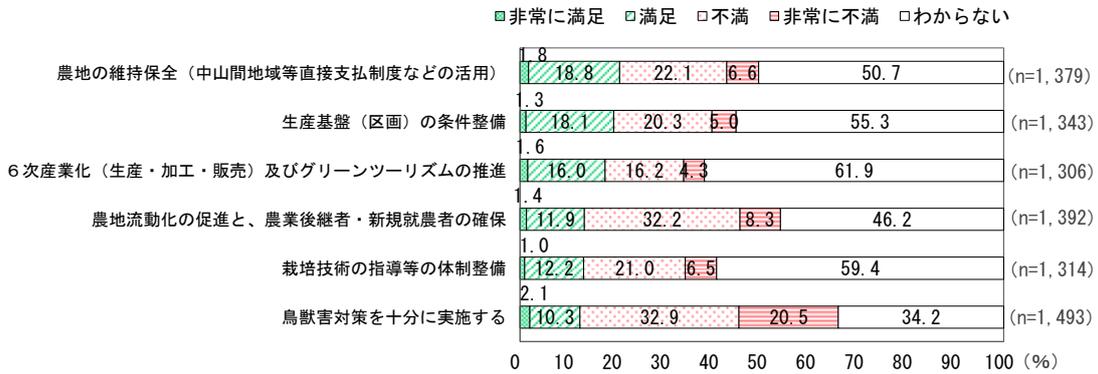


(6) 農業振興

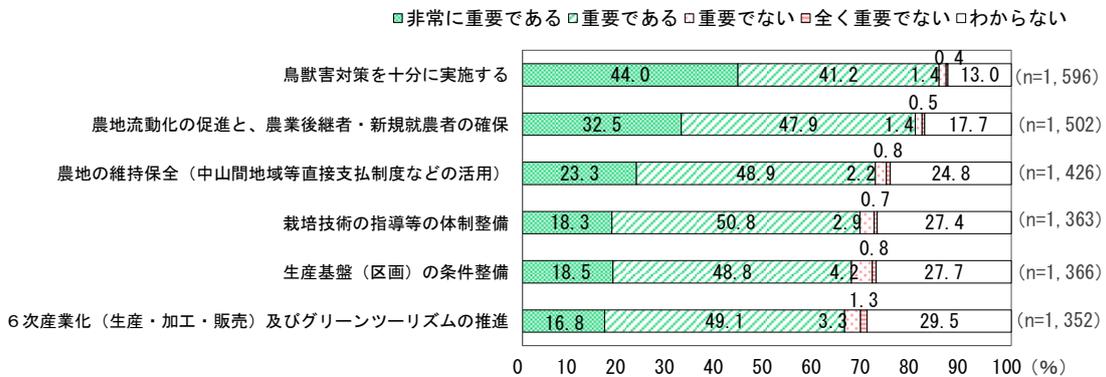
農業振興に関しては、満足度が高い順に「農地の維持保全（中山間地域等直接支払制度などの活用）」、「生産基盤（区画）の条件整備」、「6次産業化（生産・加工・販売）及びグリーンツーリズムの推進」など（図表 25）、重要度が高い順では「鳥獣害対策を十分に実施する」、「農地流動化の促進と、農業後継者・新規就農者の確保」などとなっている（図表 26）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は無く、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「鳥獣害対策を十分に実施する」、「農地流動化の促進と、農業後継者・新規就農者の確保」となっている（図表 27）。

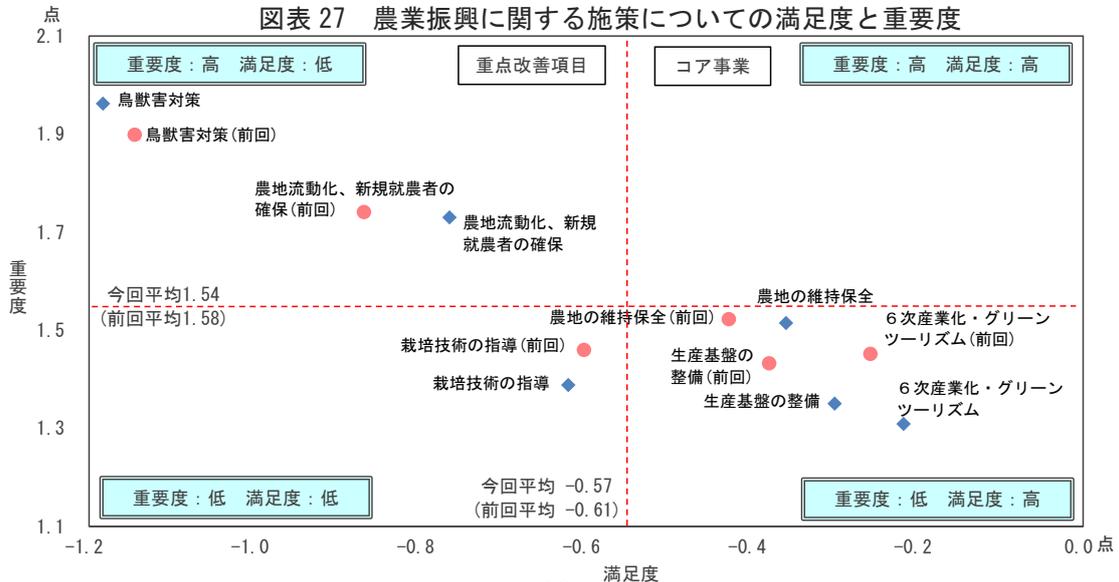
図表 25 農業振興に関する施策についての満足度



図表 26 農業振興に関する施策についての重要度



図表 27 農業振興に関する施策についての満足度と重要度

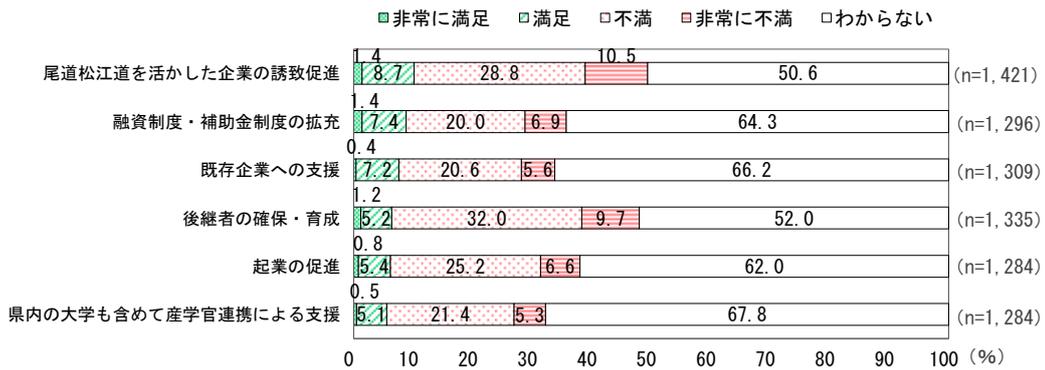


(7) 工業振興

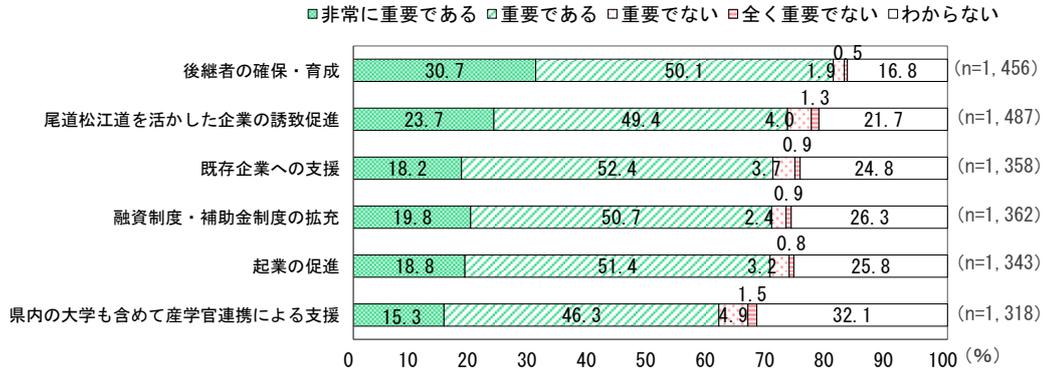
工業振興に関しては、満足度が高い順に「尾道松江線を活かした企業の誘致促進」、
「融資制度・補助金制度の拡充」など（図表 28）、重要度が高い順では「後継者の確
保・育成」、「尾道松江線を活かした企業の誘致促進」などとなっている（図表 29）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は「融資
制度・補助金制度の拡充」、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「後継者の確保・
育成」、「尾道松江道を活かした企業の誘致促進」となっている（図表 30）。

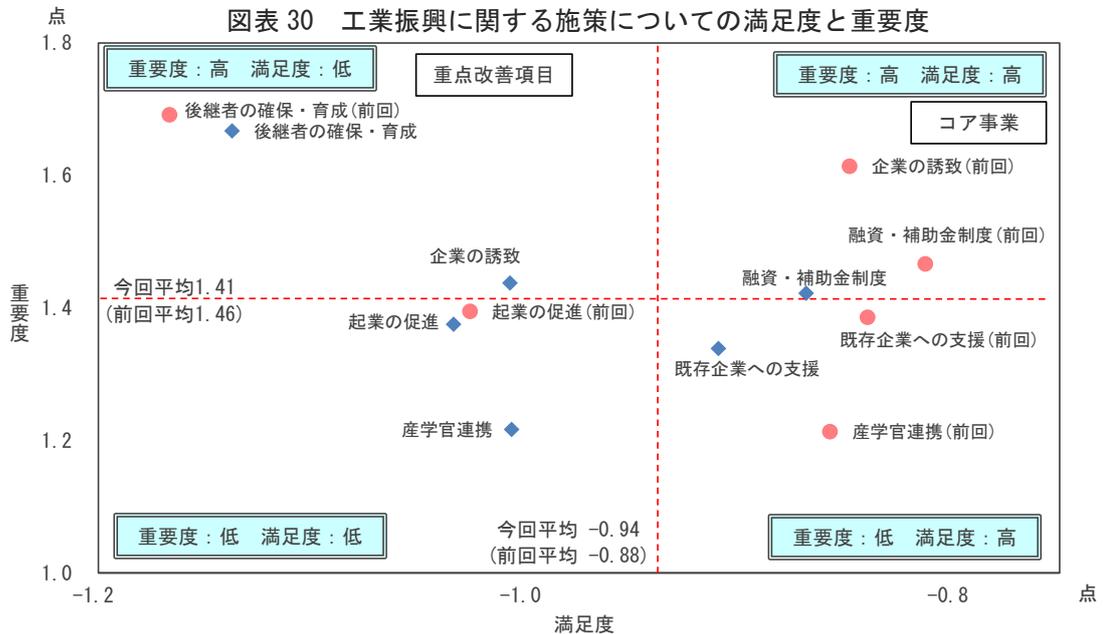
図表 28 工業振興に関する施策についての満足度



図表 29 工業振興に関する施策についての重要度



図表 30 工業振興に関する施策についての満足度と重要度

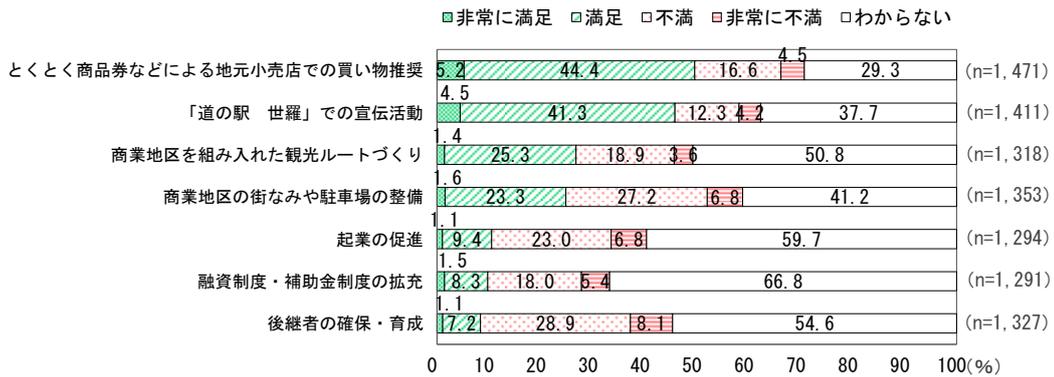


(8) 商業振興

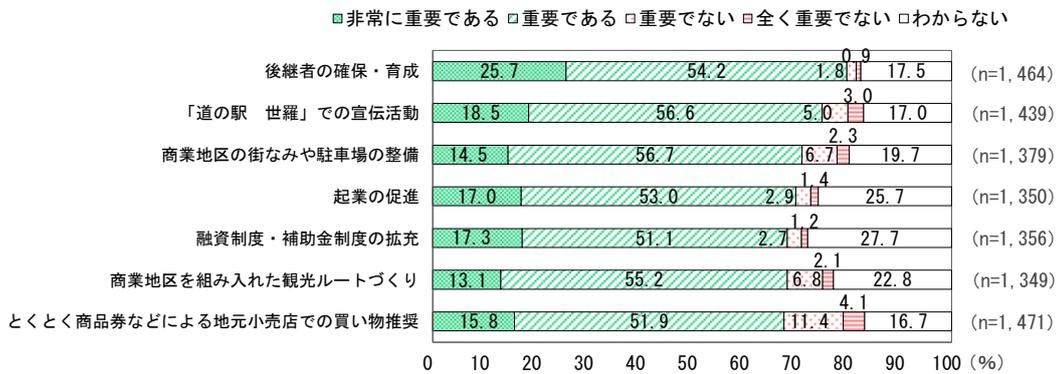
商業振興に関しては、満足度が高い順に「とくとく商品券などによる地元小売店での買い物推奨」、「道の駅 世羅」での宣伝活動」など（図表 31）、重要度が高い順では「後継者の確保・育成」、「道の駅 世羅」での宣伝活動」などとなっている（図表 32）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は無く、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「後継者の確保・育成」、「融資制度・補助金制度の拡充」、「起業の促進」となっている（図表 33）。

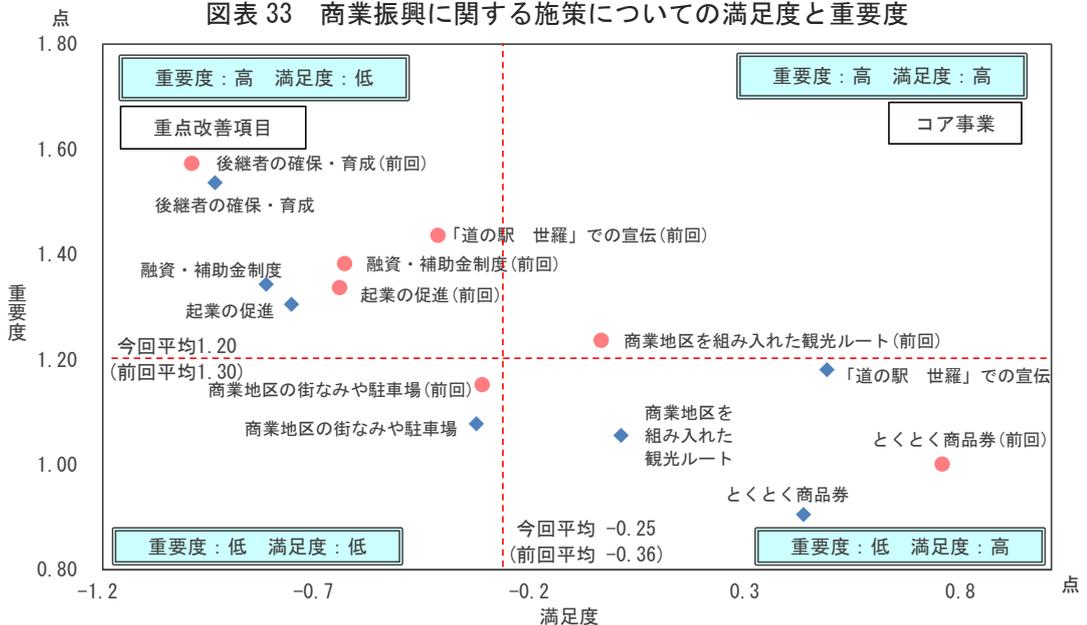
図表 31 商業振興に関する施策についての満足度



図表 32 商業振興に関する施策についての重要度



図表 33 商業振興に関する施策についての満足度と重要度

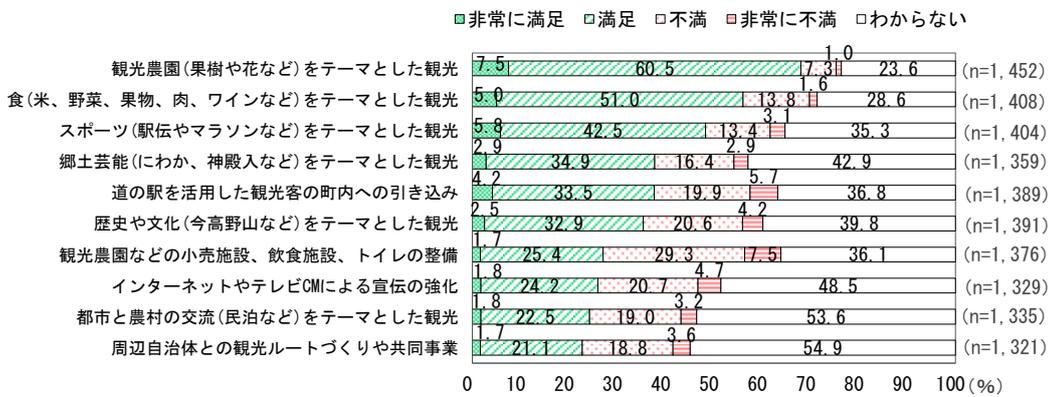


(9) 観光振興

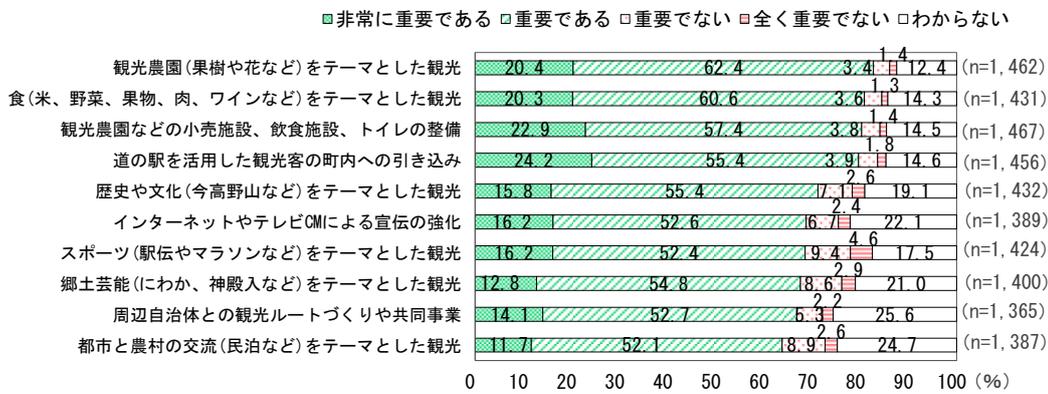
観光振興に関しては、満足度が高い順に「観光農園(果樹や花など)をテーマとした観光」、「食(米、野菜、果物、肉、ワインなど)をテーマとした観光」、「スポーツ(駅伝やマラソンなど)をテーマとした観光」など(図表 34)、重要度が高い順では「観光農園(果樹や花など)をテーマとした観光」、「食(米、野菜、果物、肉、ワインなど)をテーマとした観光」などとなっている(図表 35)。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は「観光農園(果樹や花など)をテーマとした観光」、「食(米、野菜、果物、肉、ワインなど)をテーマとした観光」、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「観光農園などの小売施設、飲食施設、トイレの整備」、「道の駅を活用した観光客の町内への引き込み」となっている(図表 36)。

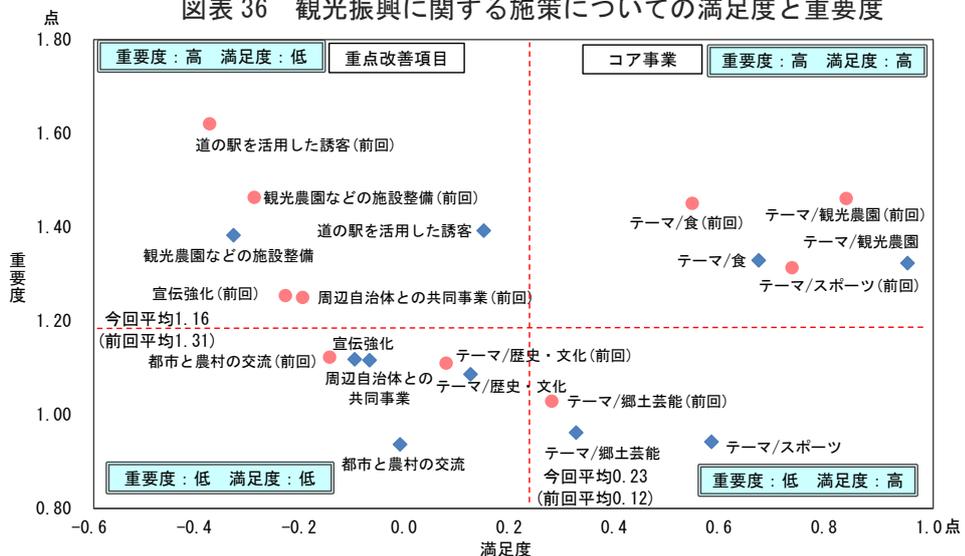
図表 34 観光振興に関する施策についての満足度



図表 35 観光振興に関する施策についての重要度



図表 36 観光振興に関する施策についての満足度と重要度

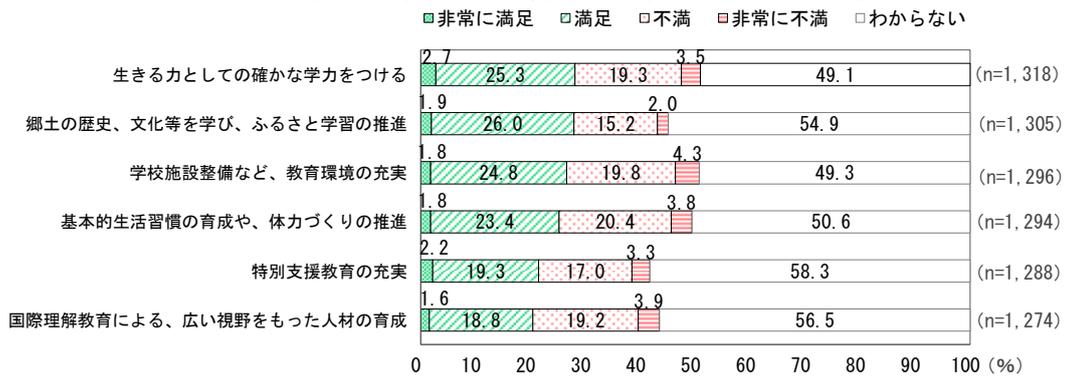


(10) 学校教育

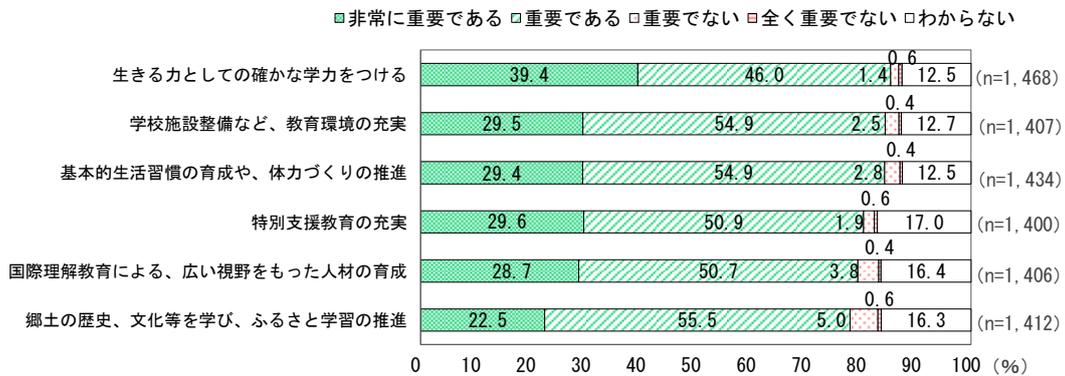
学校教育に関しては、満足度が高い順に「生きる力としての確かな学力をつける」、「郷土の歴史、文化等を学び、ふるさと学習の推進」など（図表 37）、重要度が高い順では「生きる力としての確かな学力をつける」、「学校施設整備など、教育環境の充実」などとなっている（図表 38）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は「生きる力としての確かな学力をつける」、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「特別支援教育の充実」となっている（図表 39）。

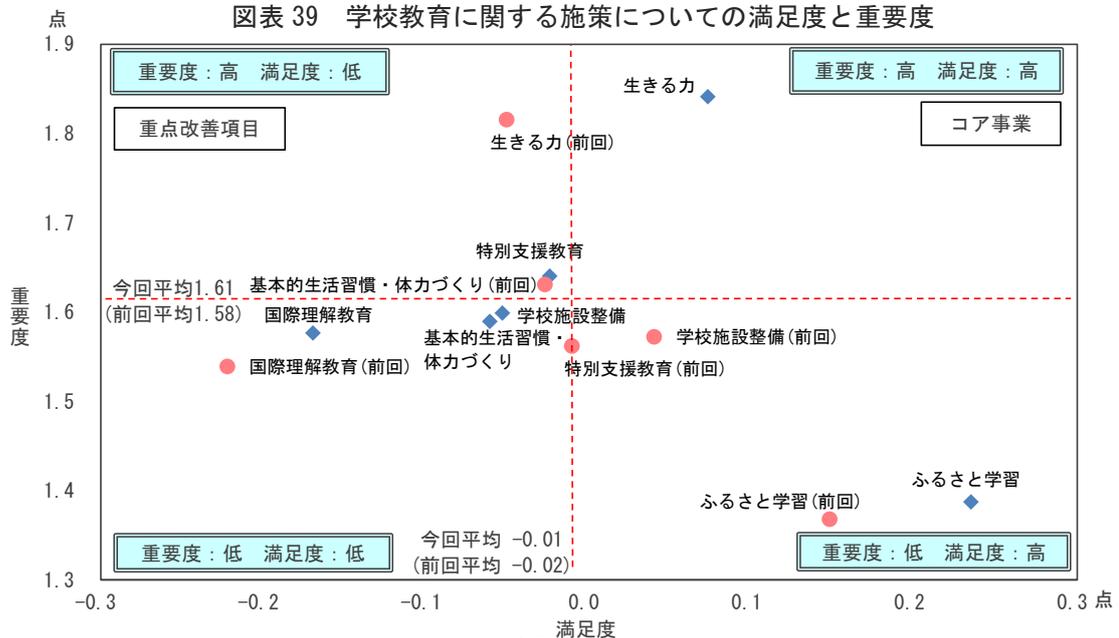
図表 37 学校教育に関する施策についての満足度



図表 38 学校教育に関する施策についての重要度



図表 39 学校教育に関する施策についての満足度と重要度

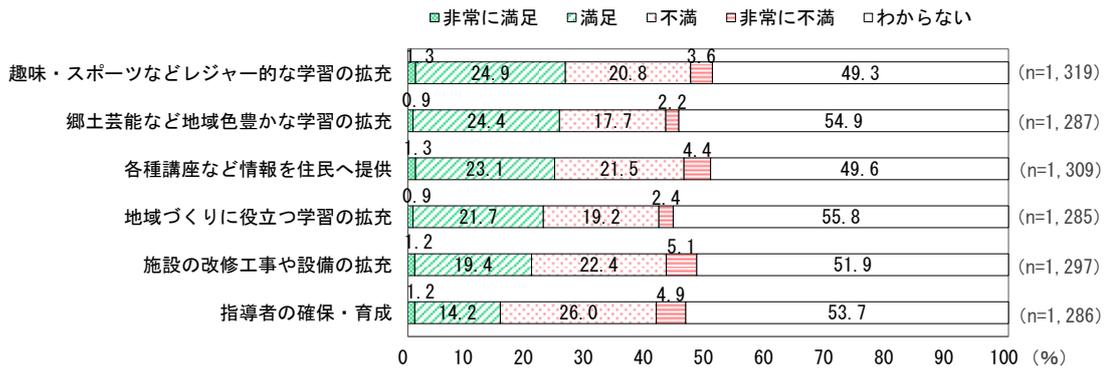


(11) 社会教育

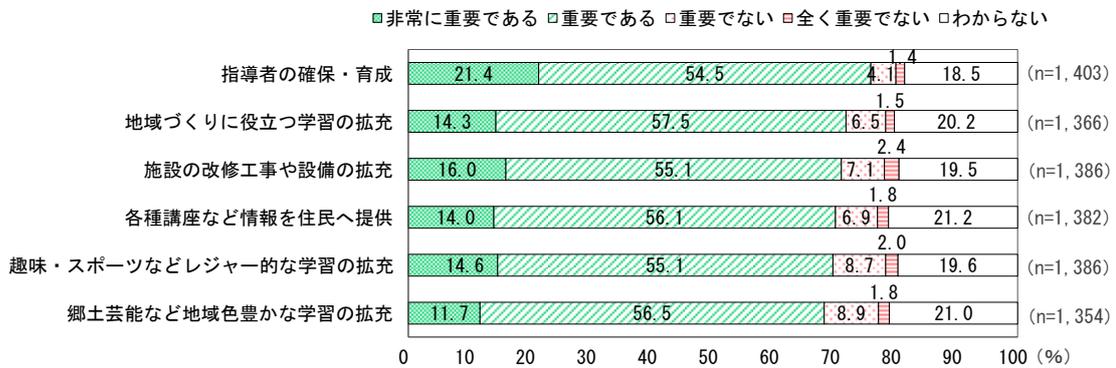
社会教育に関しては、満足度が高い順に「趣味・スポーツなどレジャー的な学習の拡充」、「郷土芸能など地域色豊かな学習の拡充」など（図表 40）、重要度が高い順では「指導者の確保・育成」、「地域づくりに役立つ学習の拡充」などとなっている（図表 41）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は「地域づくりに役立つ学習の拡充」、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「指導者の確保・育成」となっている（図表 42）。

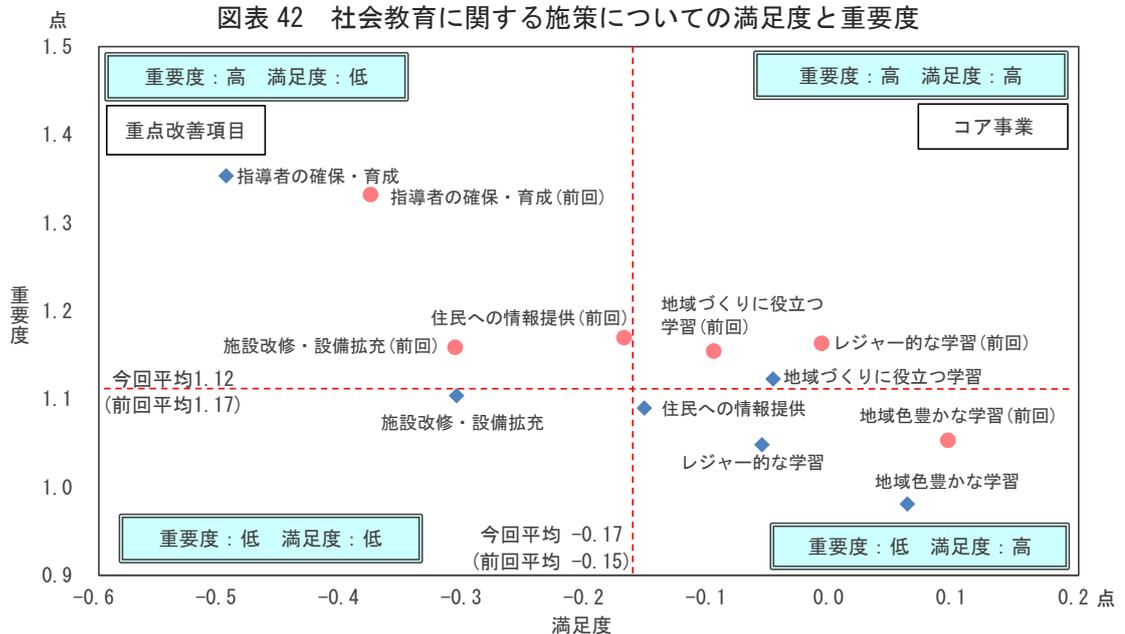
図表 40 社会教育に関する施策についての満足度



図表 41 社会教育に関する施策についての重要度



図表 42 社会教育に関する施策についての満足度と重要度

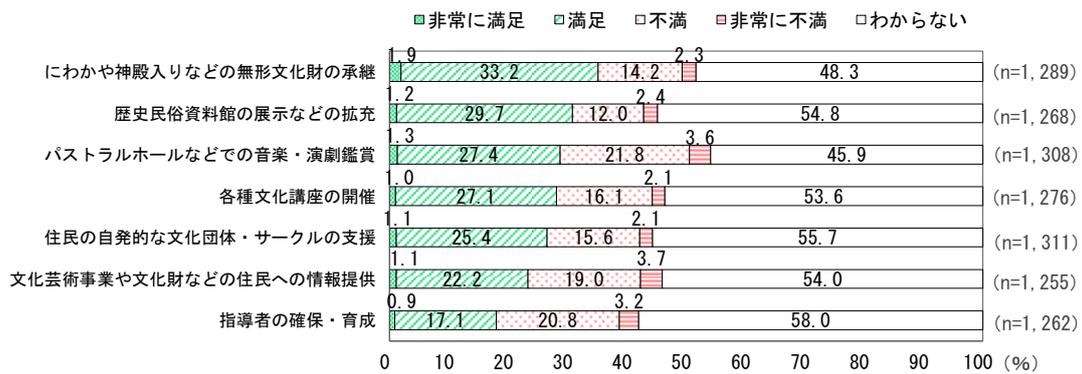


(12) 地域文化

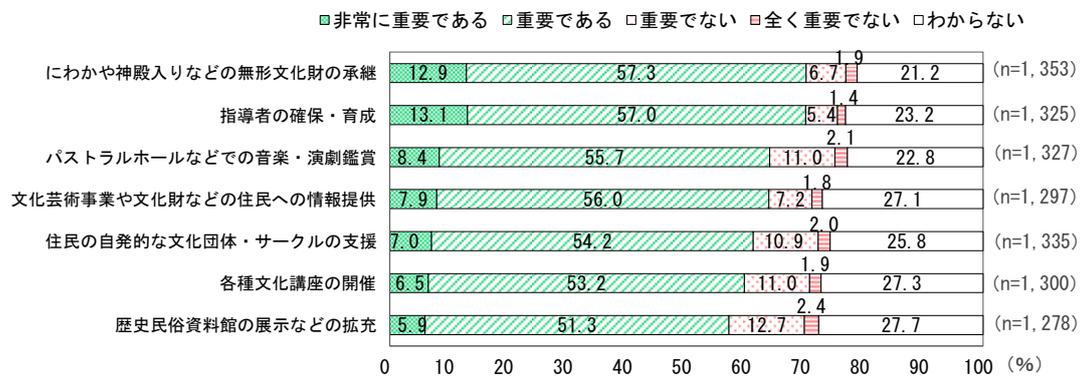
地域文化に関しては、満足度が高い順に「にわかや神殿入りなどの無形文化財の承継」、「歴史民俗資料館の展示などの拡充」など（図表 43）、重要度が高い順では「にわかや神殿入りなどの無形文化財の承継」、「指導者の確保・育成」などとなっている（図表 44）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は「にわかや神殿入りなどの無形文化財の承継」、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「指導者の確保・育成」、「文化芸術事業や文化財などの住民への情報提供」となっている（図表 45）。

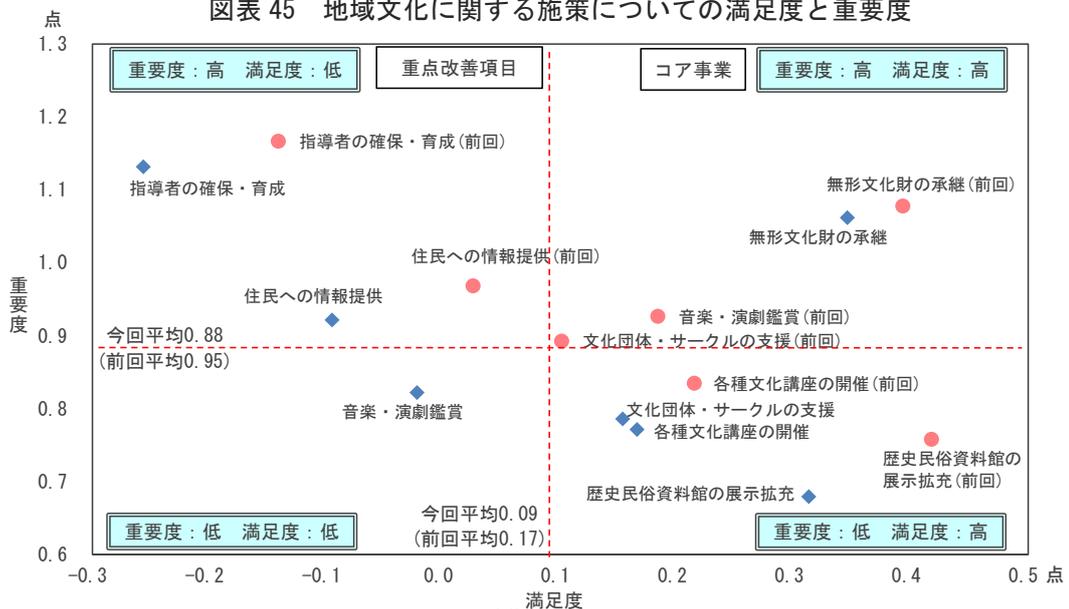
図表 43 地域文化に関する施策についての満足度



図表 44 地域文化に関する施策についての重要度



図表 45 地域文化に関する施策についての満足度と重要度

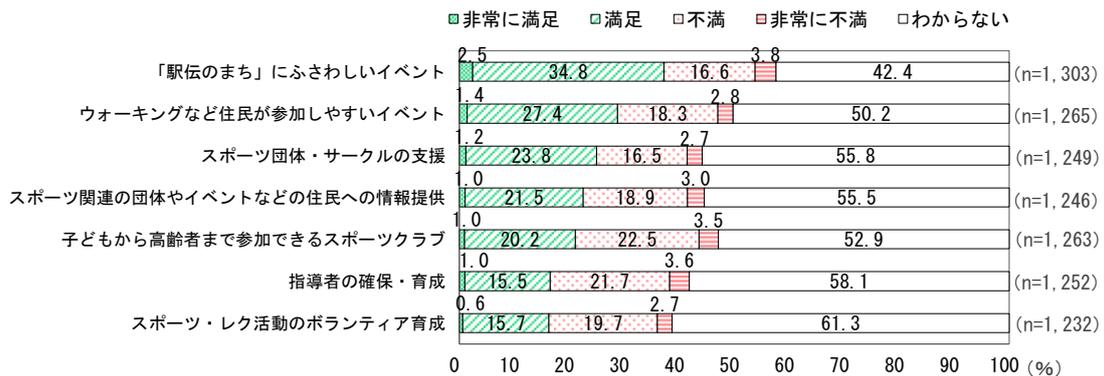


(13) スポーツと体力づくり

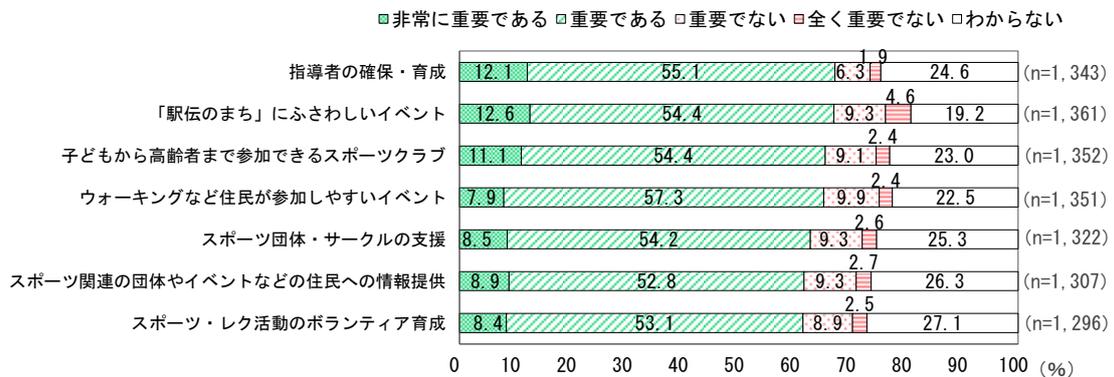
スポーツと体力づくりに関しては、満足度が高い順に『駅伝のまち』にふさわしいイベント、「ウォーキングなど住民が参加しやすいイベント」など（図表 46）、重要度が高い順では「指導者の確保・育成」、「駅伝のまち」にふさわしいイベント」などとなっている（図表 47）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は無く、「重点改善項目」の領域に該当する項目は、「指導者の確保・育成」、「子どもから高齢者まで参加できるスポーツクラブ」となっている（図表 48）。

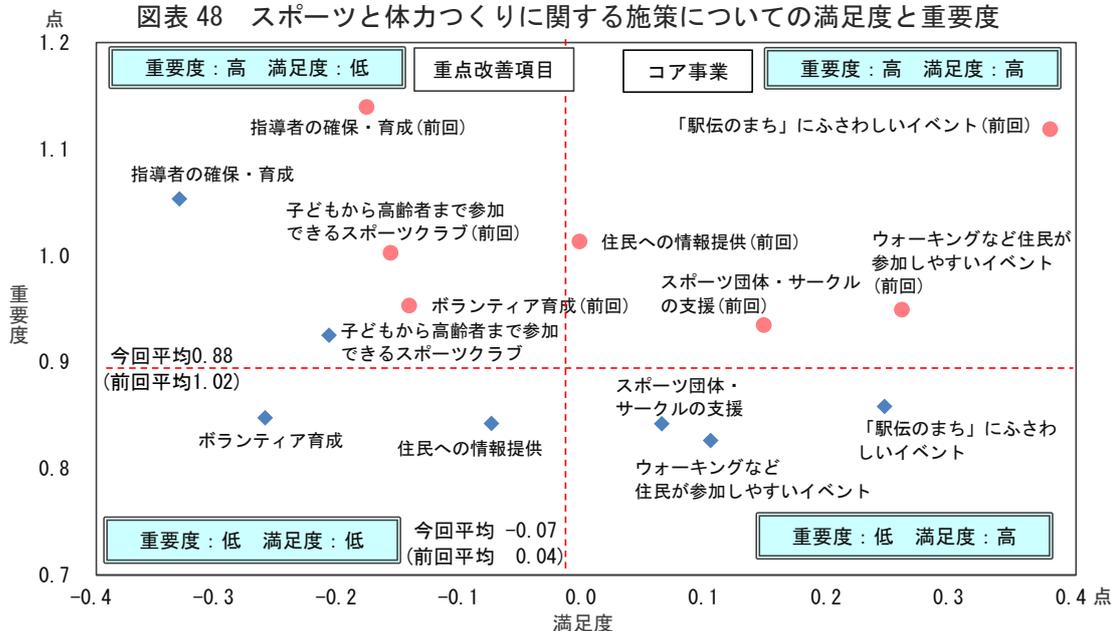
図表 46 スポーツと体力づくりに関する施策についての満足度



図表 47 スポーツと体力づくりに関する施策についての重要度



図表 48 スポーツと体力づくりに関する施策についての満足度と重要度

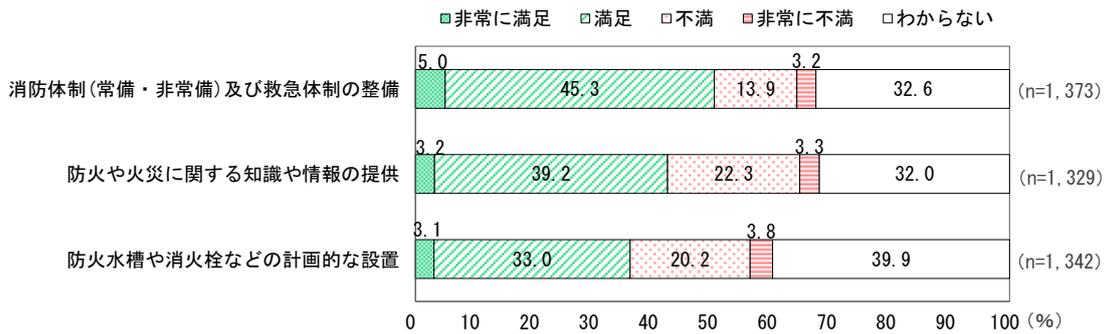


(14) 消防・救急体制

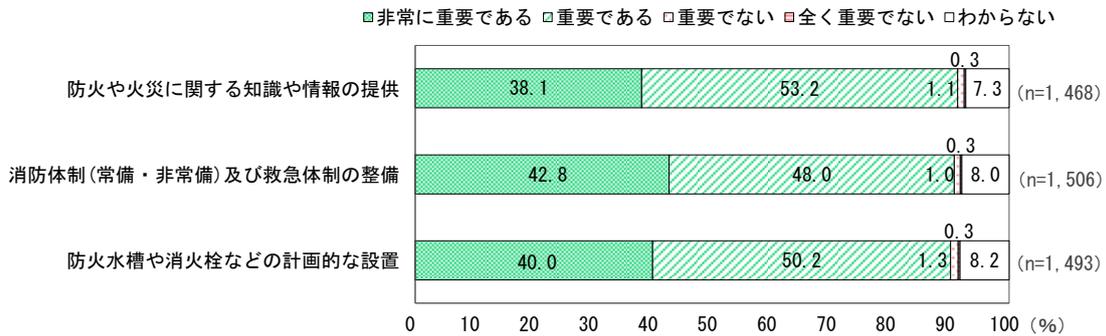
消防・救急体制に関しては、満足度が高い順に「消防体制(常備・非常備)及び救急体制の整備」、「防火や火災に関する知識や情報の提供」など(図表 49)、重要度については「防火や火災に関する知識や情報の提供」他、全ての項目で重要との回答が9割を超えている(図表 50)。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は「消防体制(常備・非常備)及び救急体制の整備」、「重点改善項目」の領域に該当する項目は無い(図表 51)。

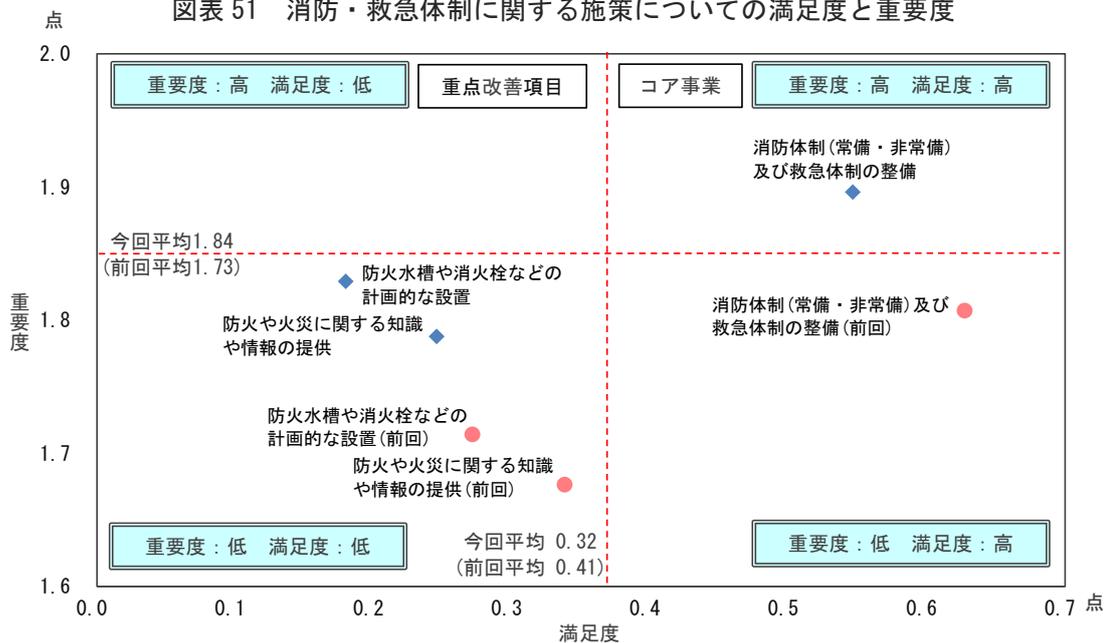
図表 49 消防・救急体制に関する施策についての満足度



図表 50 消防・救急体制に関する施策についての重要度



図表 51 消防・救急体制に関する施策についての満足度と重要度

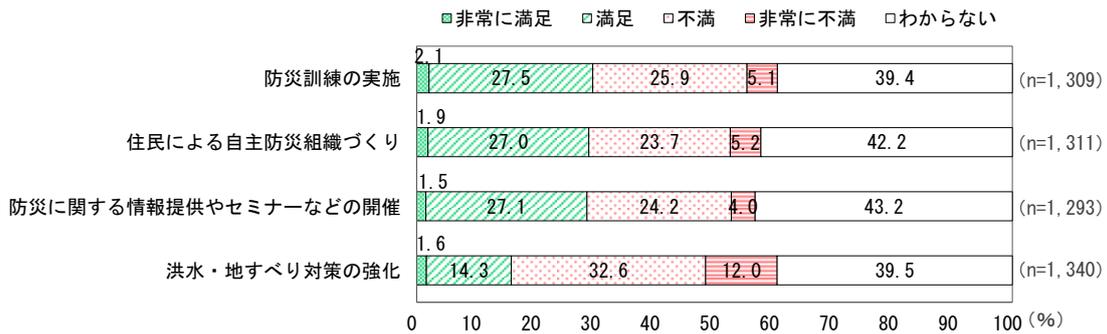


(15) 防災体制

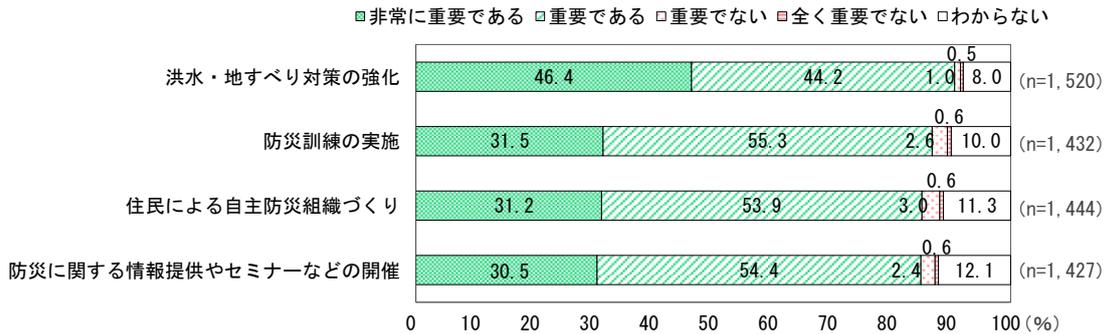
防災体制に関しては、満足度が高い順に「防災訓練の実施」、「住民による自主防災組織づくり」など（図表 52）、重要度が高い順では「洪水・地すべり対策の強化」、「防災訓練の実施」などとなっている（図表 53）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は無く、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「洪水・地すべり対策の強化」となっている（図表 54）。

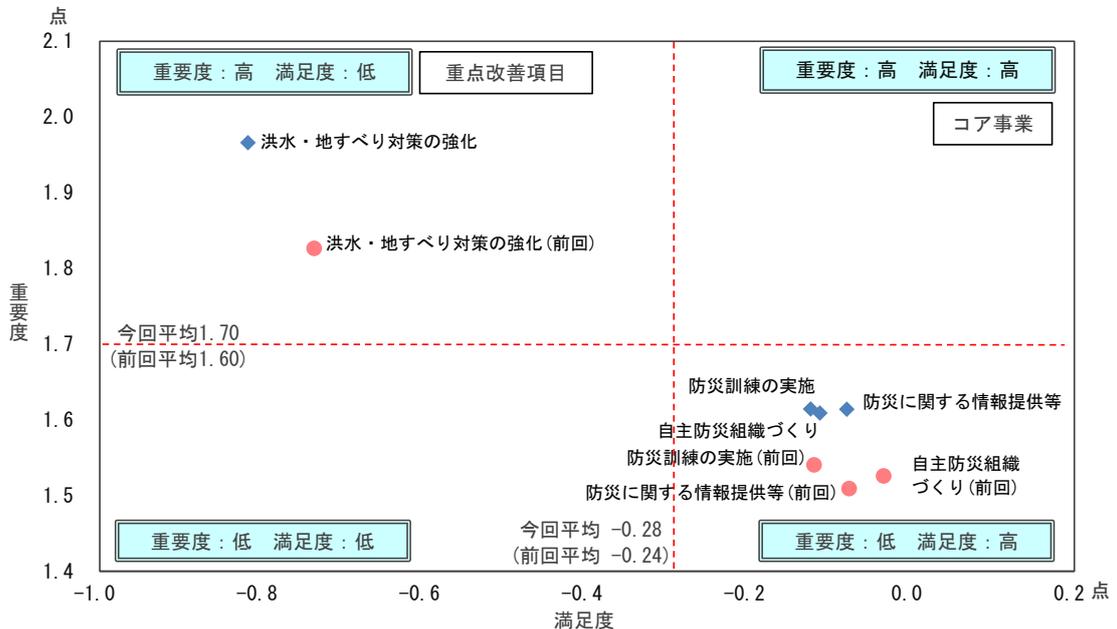
図表 52 防災体制に関する施策についての満足度



図表 53 防災体制に関する施策についての重要度



図表 54 防災体制に関する施策についての満足度と重要度

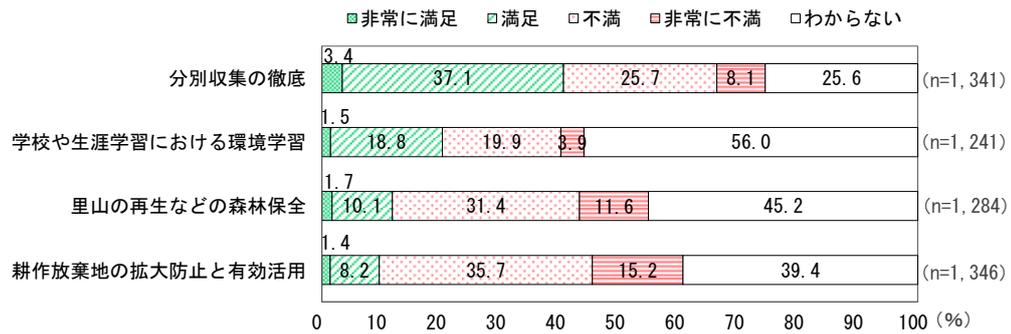


(16) 環境の保全

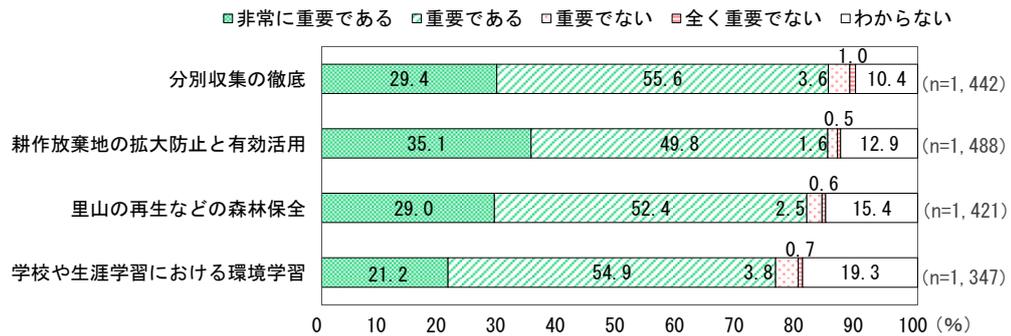
環境の保全に関しては、満足度が高い順に「分別収集の徹底」、「学校や生涯学習における環境学習」など（図表 55）、重要度が高い順では「分別収集の徹底」、「耕作放棄地の拡大防止と有効活用」などとなっている（図表 56）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は無く、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「耕作放棄地の拡大防止と有効活用」、「里山の再生などの森林保全」となっている（図表 57）。

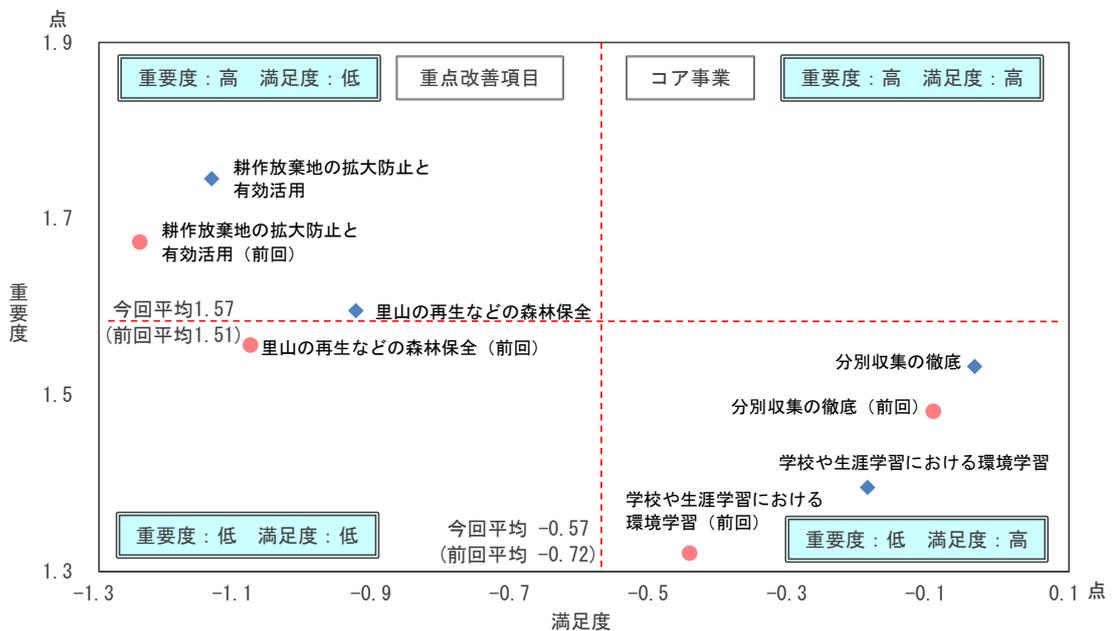
図表 55 環境の保全に関する施策についての満足度



図表 56 環境の保全に関する施策についての重要度



図表 57 環境の保全に関する施策についての満足度と重要度

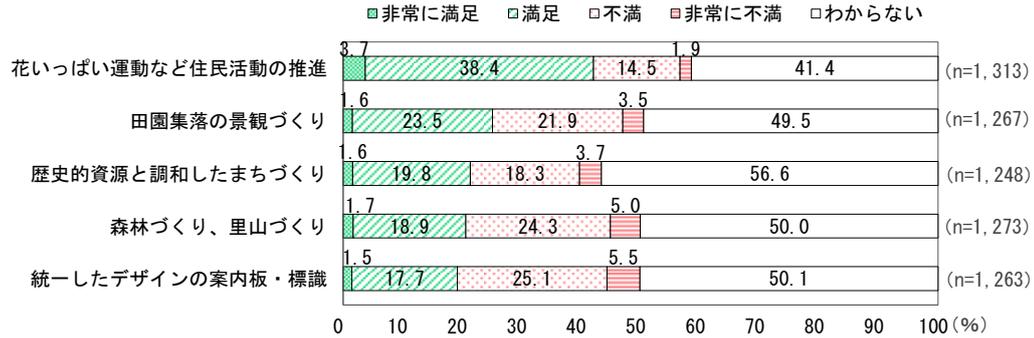


(17) 美しいまちづくり

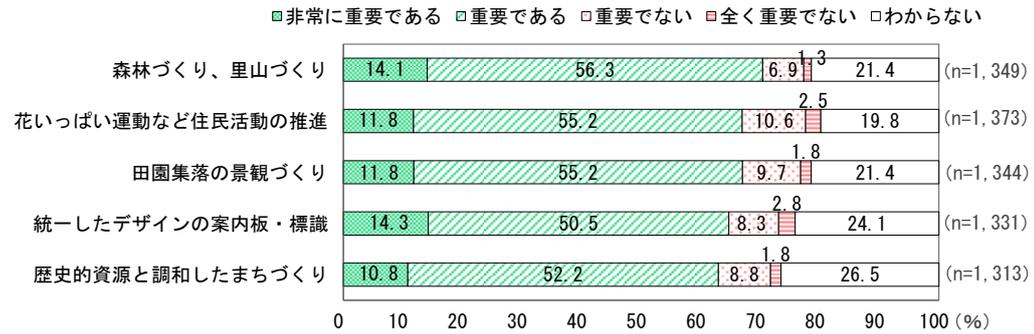
美しいまちづくりに関しては、満足度が高い順に「花いっぱい運動など住民活動の推進」、「田園集落の景観づくり」など（図表 58）、重要度が高い順では「森林づくり、里山づくり」、「花いっぱい運動など住民活動の推進」などとなっている（図表 59）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は無く、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「森林づくり、里山づくり」、「統一したデザインの家内板・標識」となっている（図表 60）。

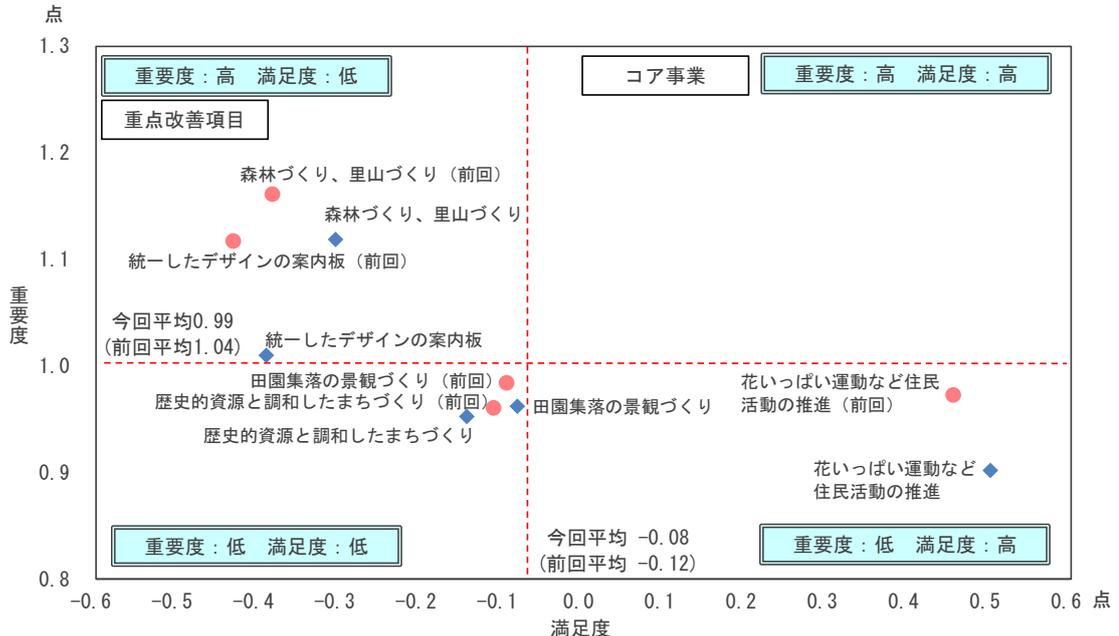
図表 58 美しいまちづくりに関する施策についての満足度



図表 59 美しいまちづくりに関する施策についての重要度



図表 60 美しいまちづくりに関する施策についての満足度と重要度

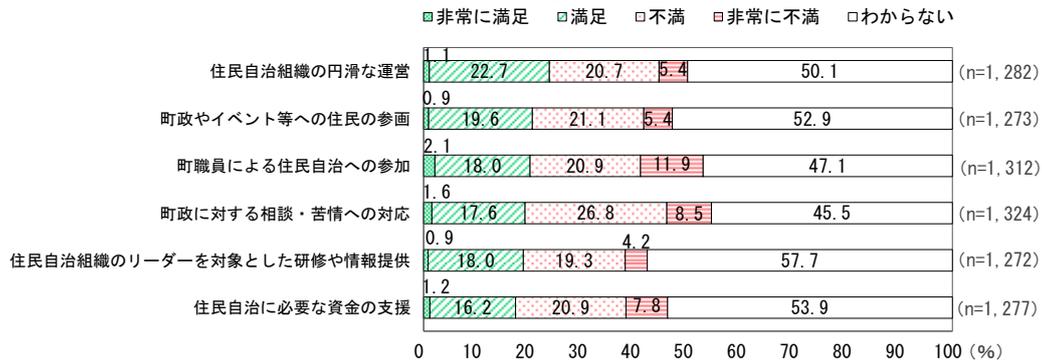


(18) 協働のまちづくり

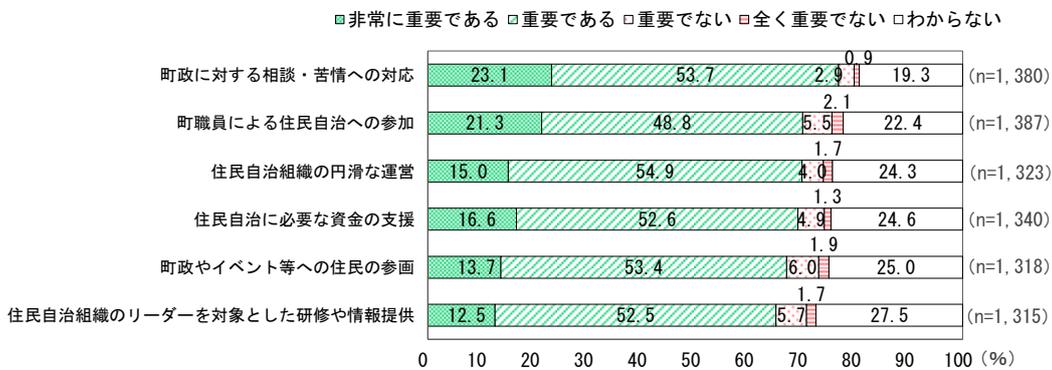
協働のまちづくりに関しては、満足度が高い順に「住民自治組織の円滑な運営」、「町政やイベント等への住民の参画」など（図表 61）、重要度が高い順では「町政に対する相談・苦情への対応」、「町職員による住民自治への参加」などとなっている（図表 62）。

これらの項目による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する項目は無く、「重点改善項目」の領域に該当する項目は「町政に対する相談・苦情への対応」、「町職員による住民自治への参加」、「住民自治に必要な資金の支援」となっている（図表 63）。

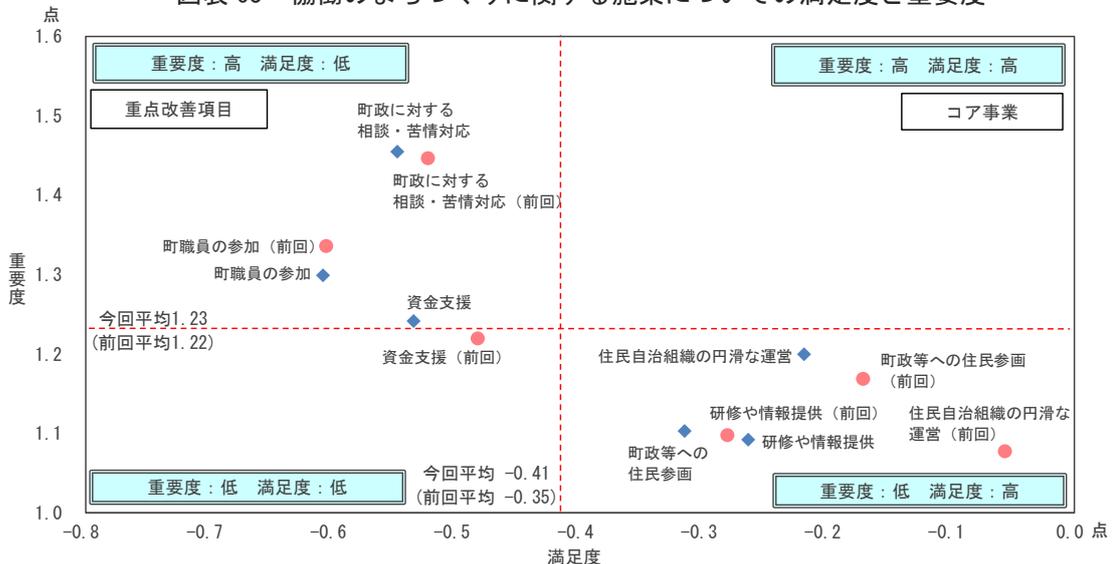
図表 61 協働のまちづくりに関する施策についての満足度



図表 62 協働のまちづくりに関する施策についての重要度

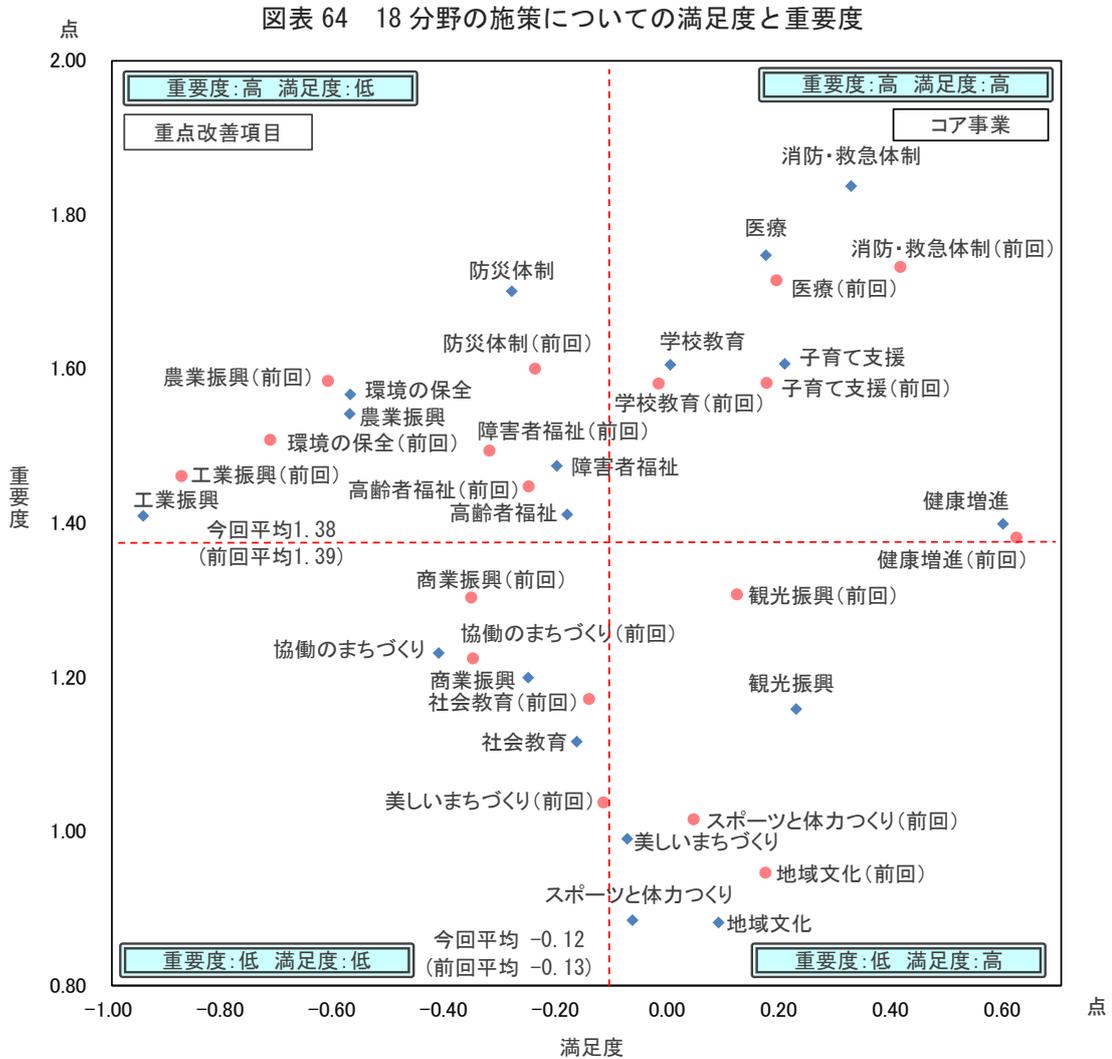


図表 63 協働のまちづくりに関する施策についての満足度と重要度



(19) 18分野の施策

18分野の施策について、分野毎に算出した満足度と重要度の平均値による散布図をみると、「コア事業」の領域に該当する施策は「消防・救急体制」、「医療」、「学校教育」、「子育て支援」、「健康増進」、「重点改善項目」の領域に該当する施策は「防災体制」、「環境の保全」、「農業振興」、「工業振興」、「障害者福祉」、「高齢者福祉」となっている（図表 64）。



【参考：コア事業・重点改善項目の今回と前回の対比】

	前回	今回
コア事業	健康増進	健康増進
	医療	医療
	子育て支援	子育て支援
	学校教育	学校教育
	消防・救急体制	消防・救急体制
重点改善項目	高齢者福祉	高齢者福祉
	障害者福祉	障害者福祉
	農業振興	農業振興
	工業振興	工業振興
	防災体制	防災体制
	環境の保全	環境の保全

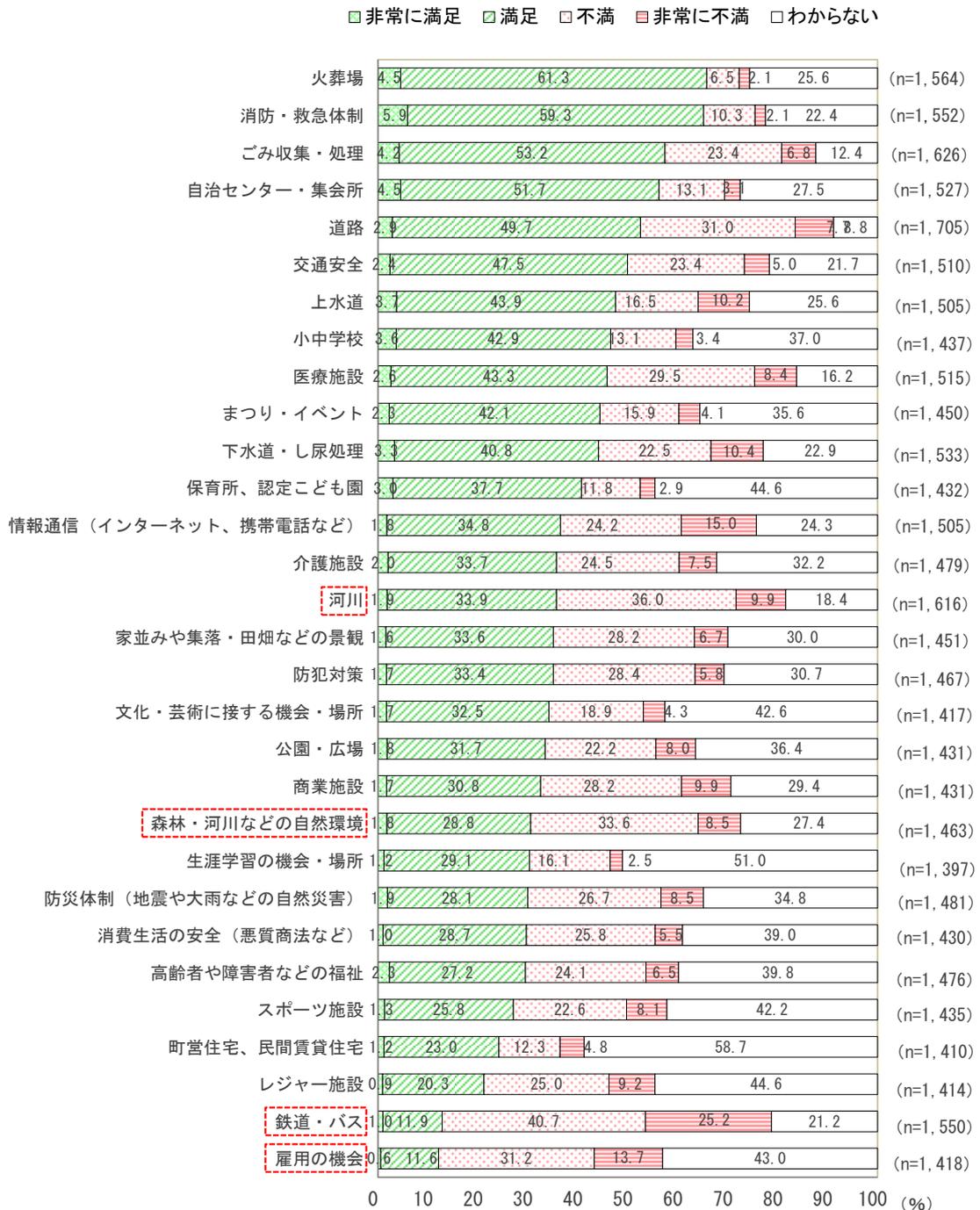
5. 世羅町の生活環境・生活条件に関する満足度と重要度

(1) 満足度

世羅町の生活環境・生活条件に関する満足度について尋ねたところ、満足しているものは「火葬場」が65.8%と最も多く、次いで「消防・救急体制」(65.2%)、「ごみ収集・処理」(57.4%)、「自治センター・集会所」(56.2%)などの順となっている。

一方、不満なものは「鉄道・バス」が65.9%と最も多く、次いで「河川」(45.9%)、「雇用の機会」(44.9%)、「森林・河川などの自然環境」(42.1%)などの順となっている(図表65)。

図表 65 世羅町の生活環境・生活条件に関する満足度

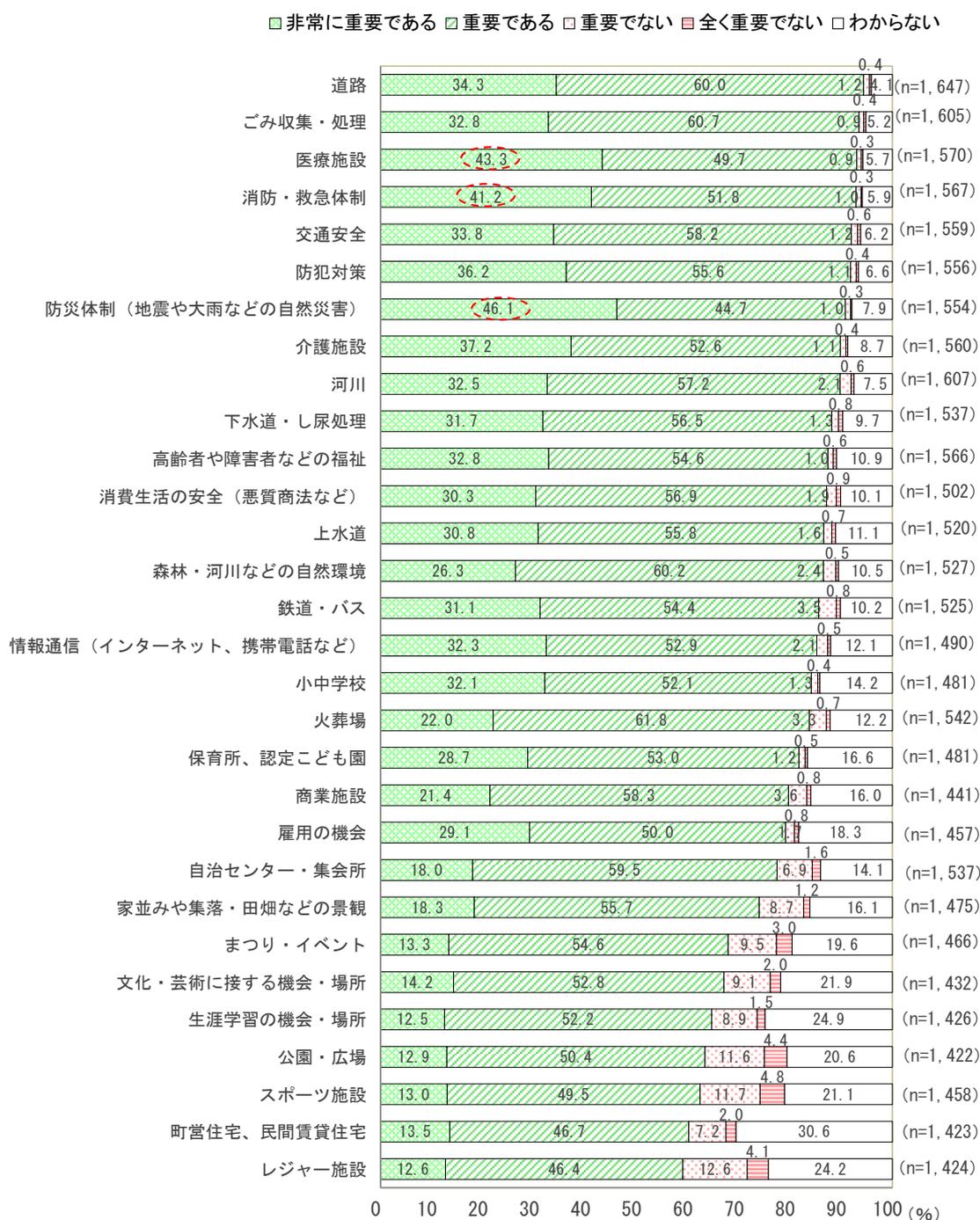


(2) 重要度

世羅町の生活環境・生活条件に関する重要度について尋ねたところ、重要なものは「道路」が94.3%と最も多く、次いで「ごみ収集・処理」(93.5%)、「医療施設」(93.0%)などの順となっており、全ての項目で5割を超えている。

なお、「非常に重要」との回答が多い項目は、「防災体制（地震や大雨などの自然災害）」(46.1%)や「医療施設」(43.3%)、「消防・救急体制」(41.2%)などとなっている（図表66）。

図表66 世羅町の生活環境・生活条件に関する重要度

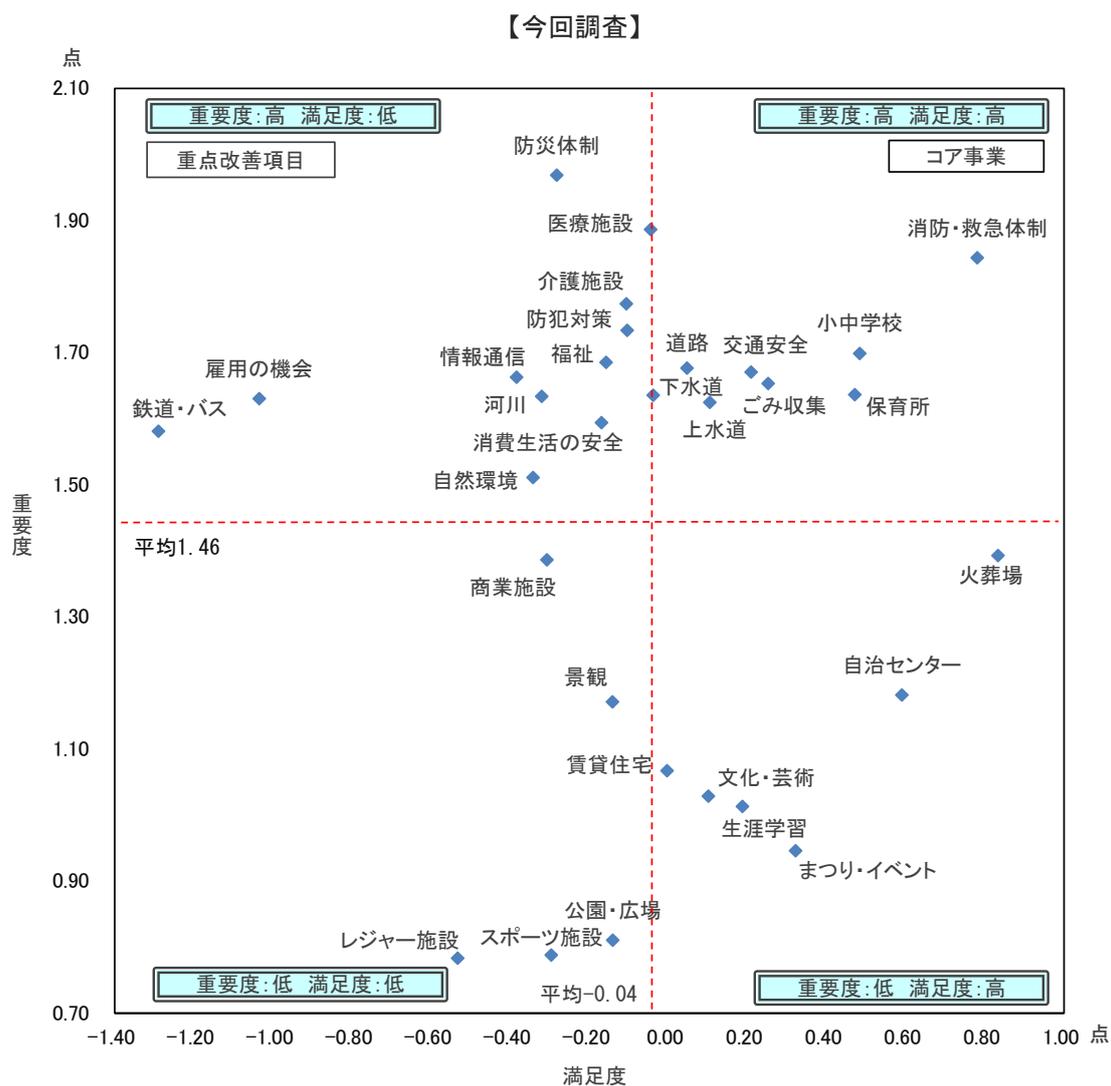


(3) 満足度と重要度

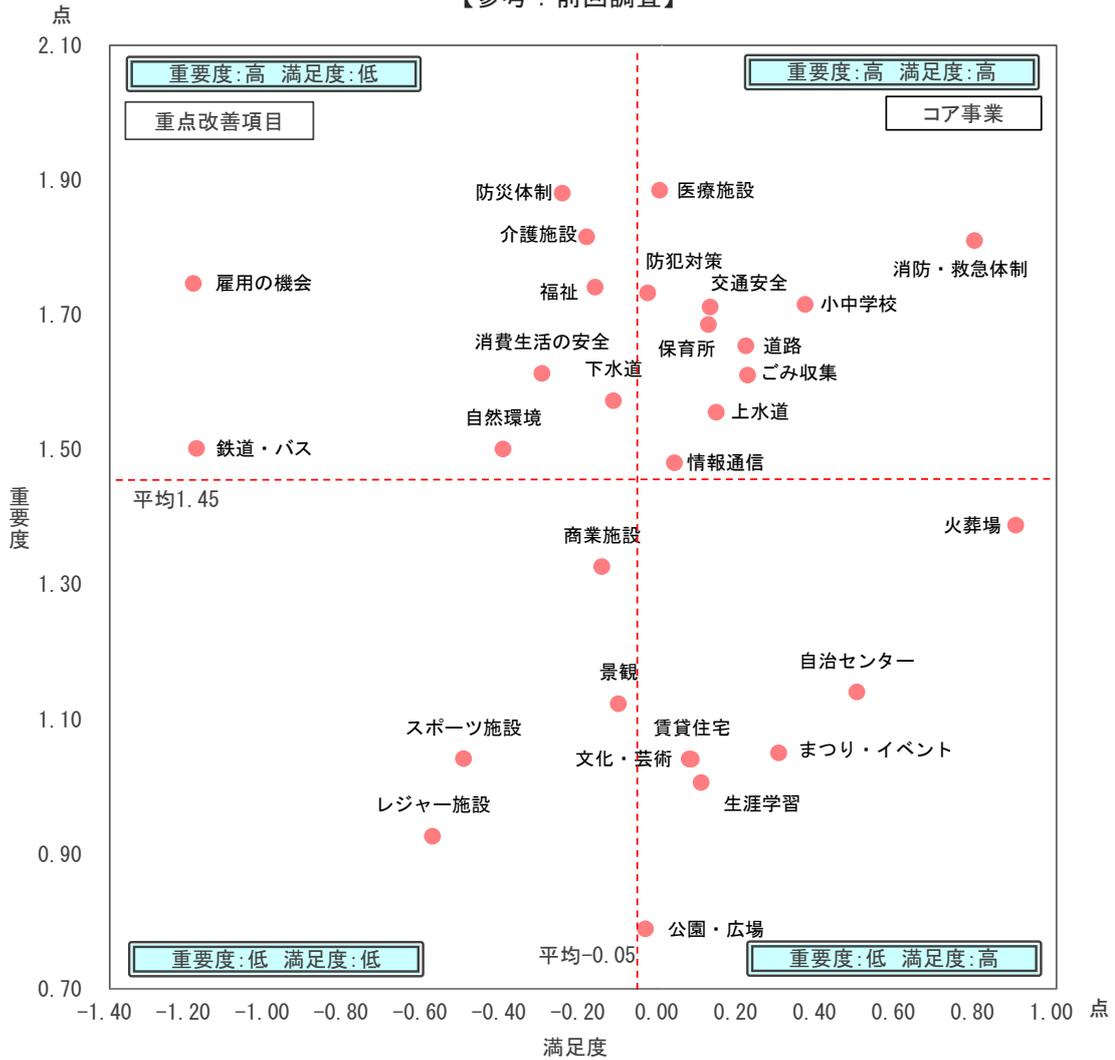
前述の「満足度」と「重要度」の項目を散布図にすると、「コア事業」の領域に該当する項目は「消防・救急体制」、「小中学校」、「保育所、認定こども園」、「交通安全」、「ごみ収集・処理」、「下水道・し尿処理」など8項目となっている。

また、「重点改善項目」の領域に該当する項目は、「雇用の機会」、「防災体制（地震や大雨などの自然災害）」、「鉄道・バス」、「情報通信（インターネット、携帯電話など）」、「医療施設」など11項目となっている（図表 67）。

図表 67 世羅町の生活環境・生活条件に関する満足度と重要度



【参考：前回調査】



【参考：コア事業・重点改善項目の今回と前回の対比】

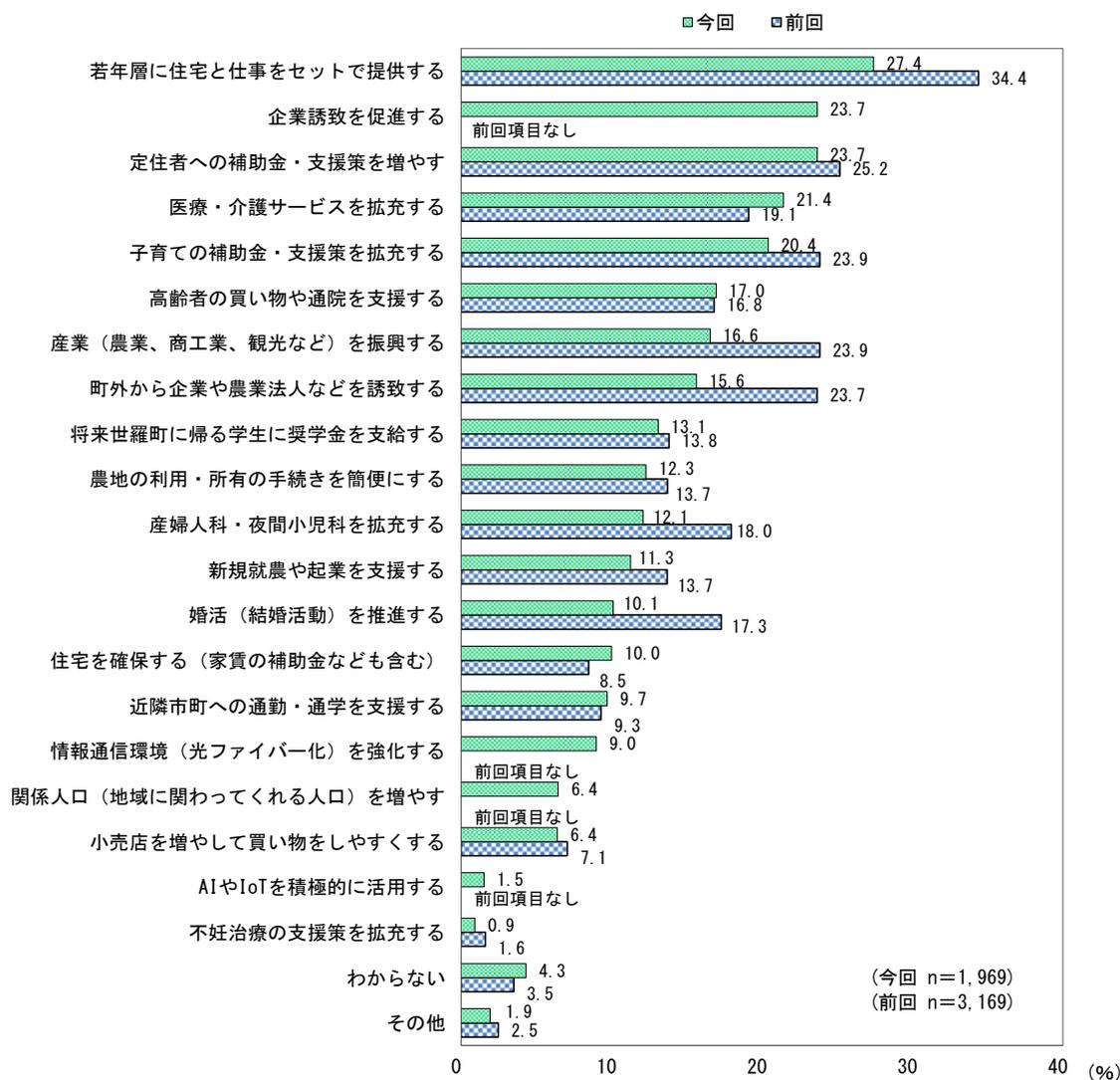
前回	今回
コア事業	
道路	道路
交通安全	交通安全
上水道	上水道
ごみ収集・処理	ごみ収集・処理
消防・救急体制	消防・救急体制
保育所、認定こども園	保育所、認定こども園
小中学校	小中学校
情報通信(インターネット、携帯電話など)	下水道・し尿処理
防犯対策	—
医療施設	—
重点改善項目	
鉄道・バス	鉄道・バス
消費生活の安全(悪質商法など)	消費生活の安全(悪質商法など)
森林・河川などの自然環境	森林・河川などの自然環境
防災体制(地震や大雨などの自然災害)	防災体制(地震や大雨などの自然災害)
雇用の機会	雇用の機会
介護施設	介護施設
高齢者や障害者などの福祉	高齢者や障害者などの福祉
下水道・し尿処理	河川
—	情報通信(インターネット、携帯電話など)
—	防犯対策
—	医療施設

(注) 網掛部分は前回調査時と今回調査時の重複項目。

6. 人口減少抑制のための方策

「人口減少抑制のための方策」について尋ねたところ、「若年層に住宅と仕事をセットで提供する」が27.4%（前回調査比▲7.0%ポイント）と最も多く、次いで「企業誘致を促進する」（23.7%、前回項目なし）、「定住者への補助金・支援策を増やす」（23.7%、同▲1.5%ポイント）、「医療・介護サービスを拡充する」（21.4%、+2.3%ポイント）などの順となっている（図表68）。

図表 68 人口減少を抑制するための方策



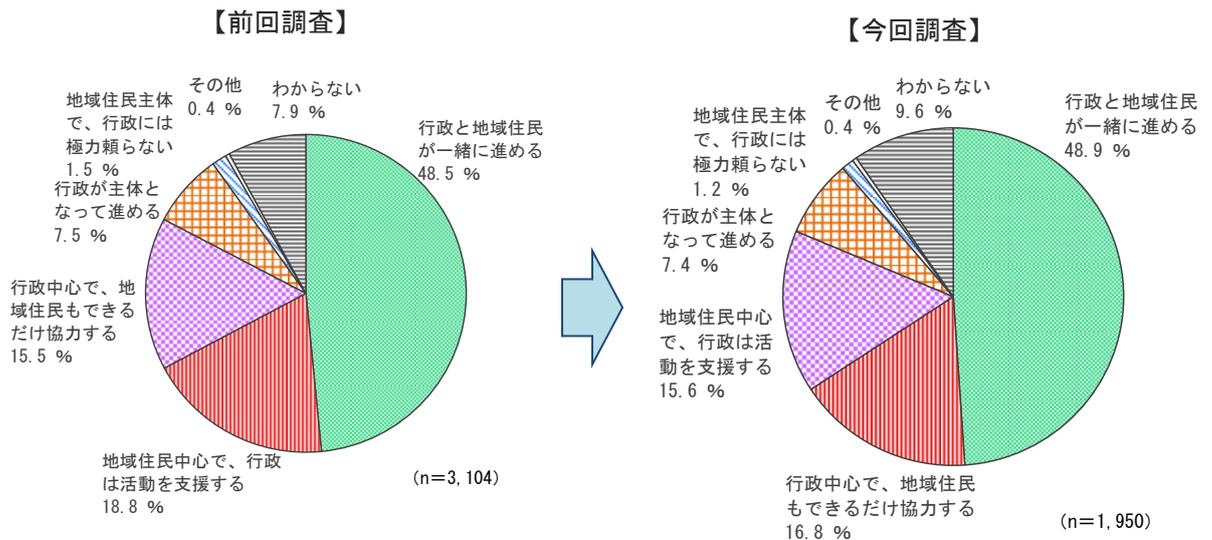
（注）複数回答（3項目まで）

7. 「協働のまちづくり」について

「より良いまちづくりの進め方」について尋ねたところ、「行政と地域住民が一緒に進める」が 48.9%（前回調査比+0.4%ポイント）と最も多く、次いで「行政中心で、地域住民もできるだけ協力する」が 16.8%（同▲2.0%ポイント）などとなっている（図表 69）。

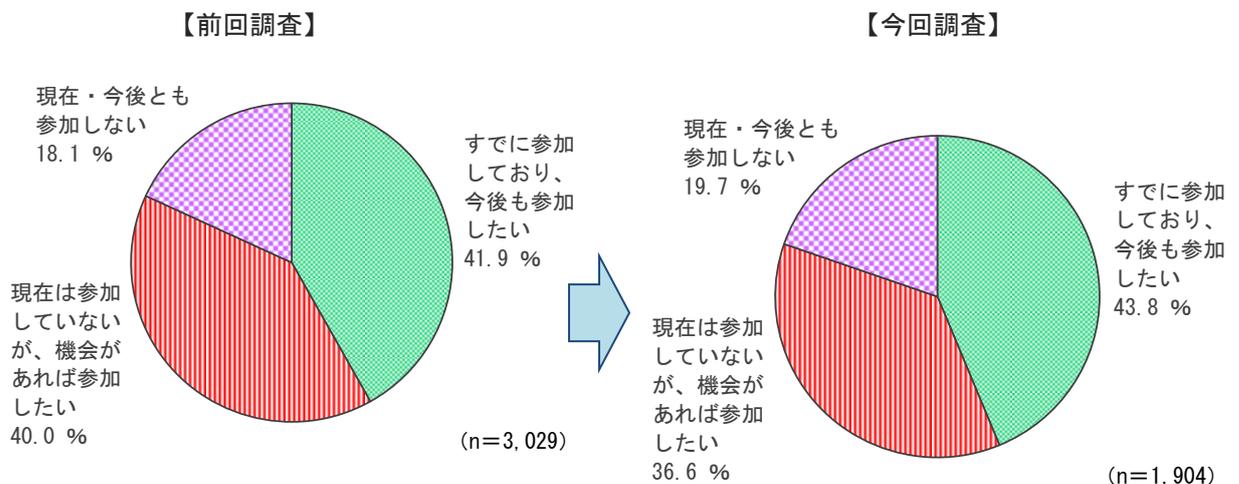
（注）「協働のまちづくり」とは、住民と行政がお互いを尊重・理解し、住民と行政がともに担い手となり、地域の活性化や公共的な課題の解決に向けて、まちづくりを行っていくこと。

図表 69 より良いまちづくりの進め方



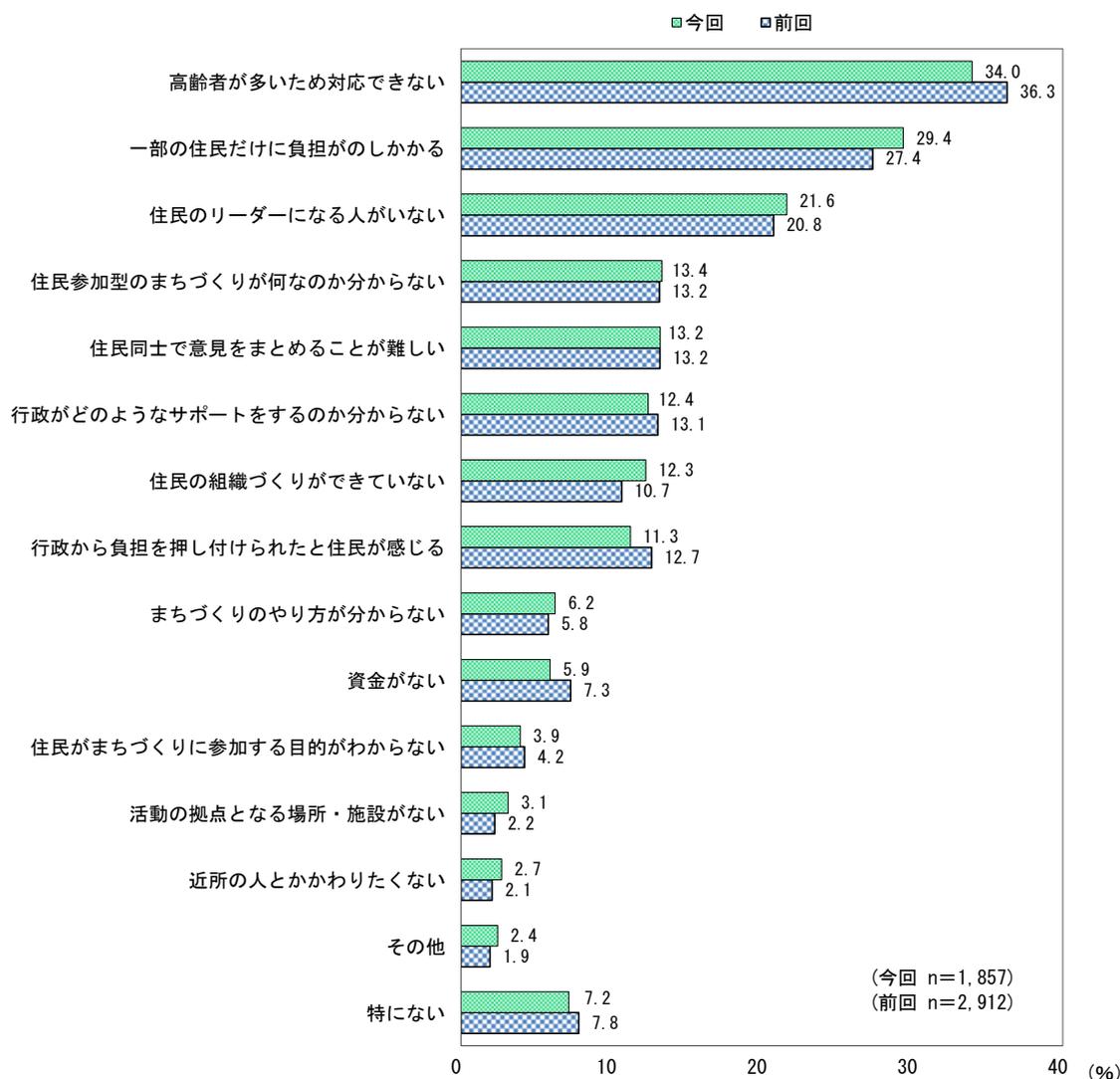
「まちづくりへの参加状況」について尋ねたところ、「すでに参加しており、今後も参加したい」が 43.8%（前回調査比+1.9%ポイント）、「現在は参加していないが、機会があれば参加したい」が 36.6%（同▲3.4%ポイント）となっており、これらを合計すると「参加したい」との回答は 80.4%（同▲1.5%ポイント）となっている（図表 70）。

図表 70 まちづくりへの参加状況



「協働のまちづくりの課題」について尋ねたところ、「高齢者が多いため対応できない」が34.0%（前回調査比▲2.3%ポイント）と最も多く、次いで「一部の住民だけに負担がのしかかる」（29.4%、同+2.0%ポイント）、「住民のリーダーになる人がいない」（21.6%、同+0.8%ポイント）などの順となっている（図表71）。

図表71 協働のまちづくりの課題



(注)複数回答(3項目まで)

「協働のまちづくりに関する取組み」について尋ねたところ、現在取組んでいるものは「健康診査を受診し、病気を早期発見・早期治療する」が64.8%と最も多く、次いで「地域の子どもにあいさつや声かけをする」(64.0%)などの順となっている。

今後取組みたいものは「地域住民で高齢者を支える組織をつくる」が72.1%と最も多く、次いで「介護予防に取組む」(71.9%)、「高齢者を見守り、緊急時に通報する」(71.5%)などの順となっている(図表72)。

図表72 協働のまちづくりに関する取組み

